
(仮称)北区子ども・子育て支援総合計画策定
のための区民意向調査報告書
【概要版】



令和5年3月
北区教育委員会

1 調査概要

1. 調査目的

この調査は、子ども・子育て支援法の基本理念や子ども・子育て支援の意義に関する事項を踏まえて策定した「北区子ども・子育て支援計画 2020」、そして未来を担う子どもたちの学びや育ちを支えるために策定した「北区子どもの未来応援プラン」を改定し、令和6年度からの5か年を計画期間とする「(仮称)北区子ども・子育て支援総合計画」の策定に向けた基礎資料を得ることを目的として実施した。

2. 調査設計・回収結果

以下のとおり、10種類の調査を実施した。

- 【抽出方法】調査種別①、②、④-1、④-2、⑦：住民基本台帳から無作為抽出
調査種別③：18歳以下のお子さんがいない世帯を住民基本台帳から無作為抽出
調査種別⑤⑥：悉皆
調査種別⑧：はぴママたまご面接受講者または乳児健診受診の保護者から無作為抽出
調査種別⑨：児童養護施設等利用者から抽出

- 【調査方法】調査種別①、②、③、④-1、④-2、⑦、⑧：郵送配布・郵送回収
調査種別⑤⑥：学校配布・オンライン回答（GIGA スクール端末）
調査種別⑨：施設配布・郵送回収

【調査時期】令和4年10月17日～10月31日

調査種別	配布数	有効回収数	有効回収率
① 就学前の子どもの保護者	2,500	1,402	56.1%
② 小学生の子どもの保護者	1,000	570	57.0%
③ 25歳～39歳の区民	1,000	265	26.5%
④-1 世帯主と18歳以下の子のみで構成されている世帯	750	274	36.5%
④-2 児童育成手当受給世帯	750	365	48.7%
⑤ 区立小学6年生	2,240	1,479	66.0%
⑥ 区立中学2年生	1,639	671	40.9%
⑦ 高校2年生世代	1,500	547	36.5%
⑧ 妊産婦	500	333	66.6%
⑨ 児童養護施設等利用者	50	30	60.0%
合計	11,929	5,936	49.8%

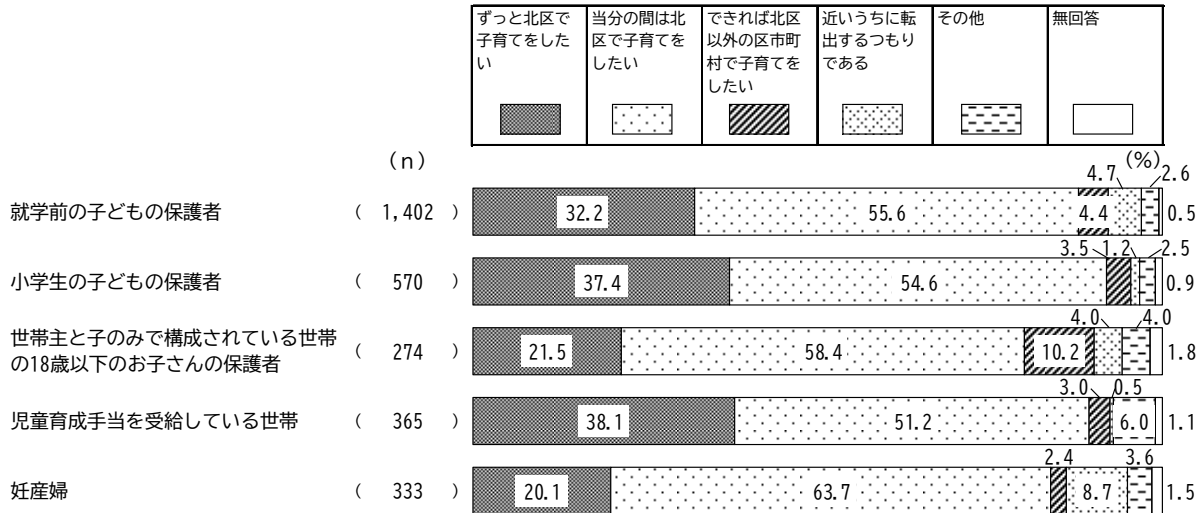
2

主な共通設問

(1) 北区での子育て意向

問 北区で子育てをしたいと思いませんか。

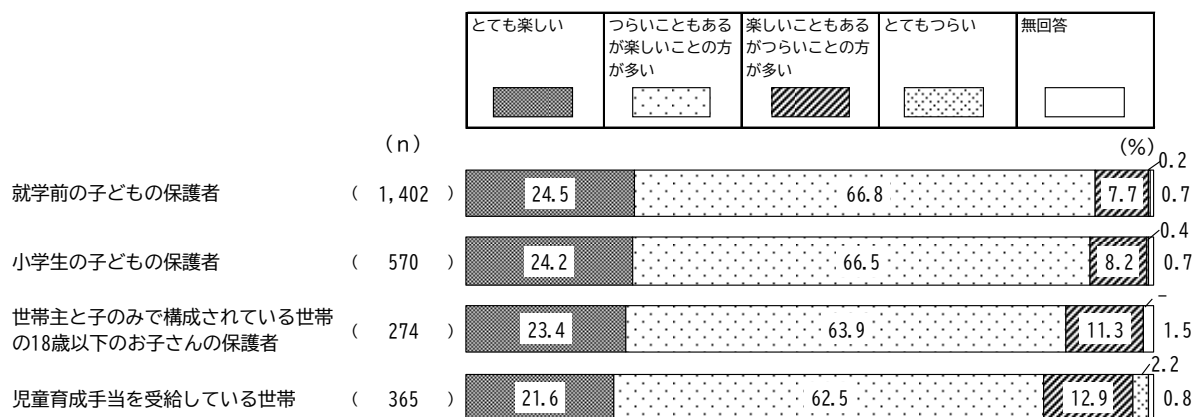
北区での子育て意向をみると、どの調査種別でも“子育てをしたい”（「ずっと北区で子育てをしたい」+「当分の間は北区で子育てをしたい」）が概ね8割を超えている。



(2) 子育ての楽しさ

問 あなたは、子育てが楽しいですか。

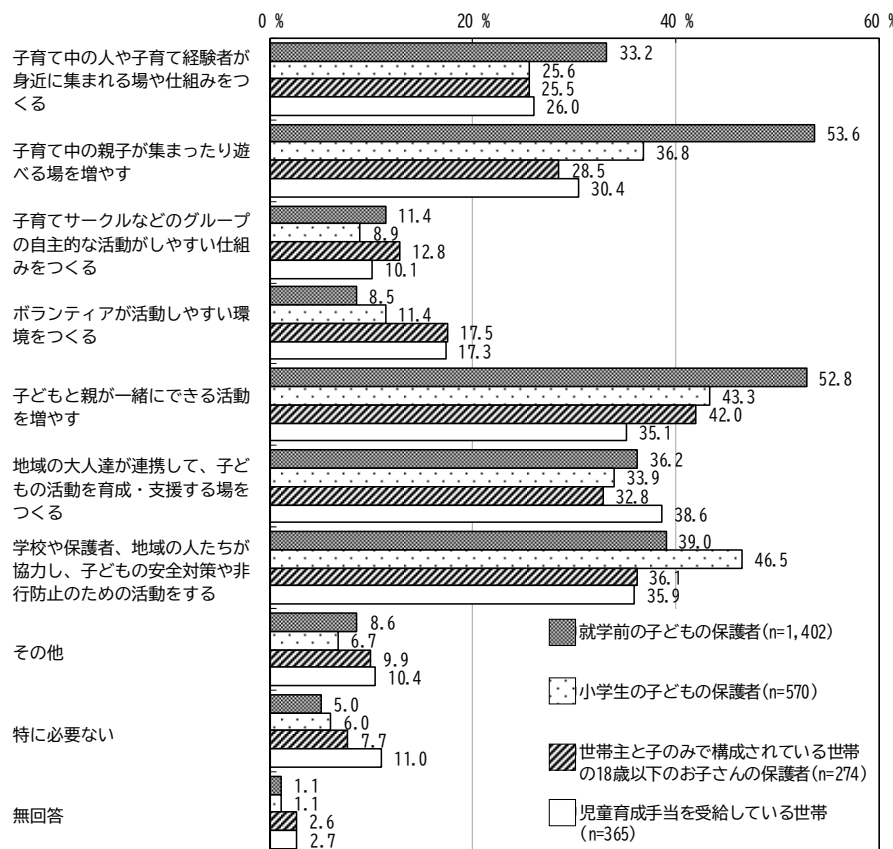
子育ての楽しさをみると、どの調査種別でも“楽しい”（「とても楽しい」+「つらいこともあるが楽しいことの方が多い」）が8割を超えている。



(3) 安心して子育てをするために地域で必要な取り組み（複数回答）

問 安心して子育てをするためには、地域でどのような取り組みが必要だと思いますか。

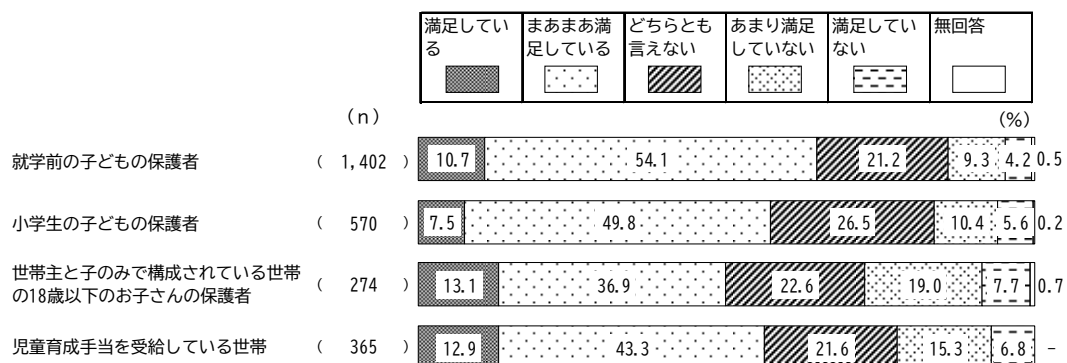
安心して子育てをするために地域で必要な取り組みをみると、就学前の子どもの保護者は「子育て中の親子が集まったり遊べる場を増やす」が5割半ば、小学生の子どもの保護者は「学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全対策や非行防止のための活動をする」が4割半ば、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は「子どもと親と一緒にできる活動を増やす」が4割強、児童育成手当を受給している世帯は「地域の大人達が連携して、子どもの活動を育成・支援する場をつくる」が4割弱と最も高くなっている。



(4) 北区の子育て環境や支援への満足度

問 北区における子育ての環境や支援への満足度についてあてはまる番号に○をつけてください。

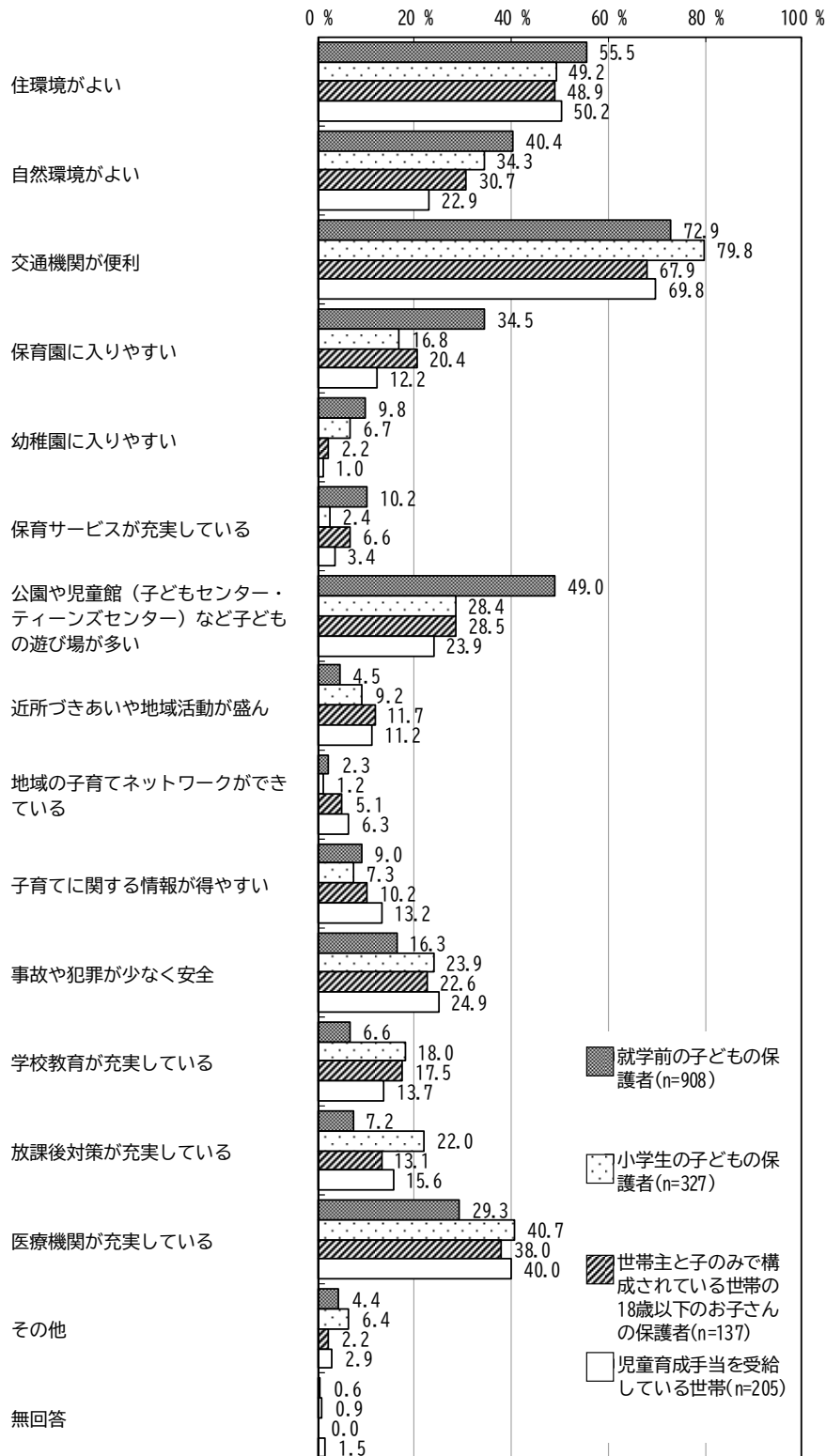
北区の子育て環境や支援への満足度をみると、どの調査種別でも“満足している”（「とても満足している」+「まあまあ満足している」）が5割を超えている。



(5) 満足度が高い理由（複数回答）

【「4. まあまあ満足している」「5. 満足している」と回答した方にうかがいます】
 問 満足している理由をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

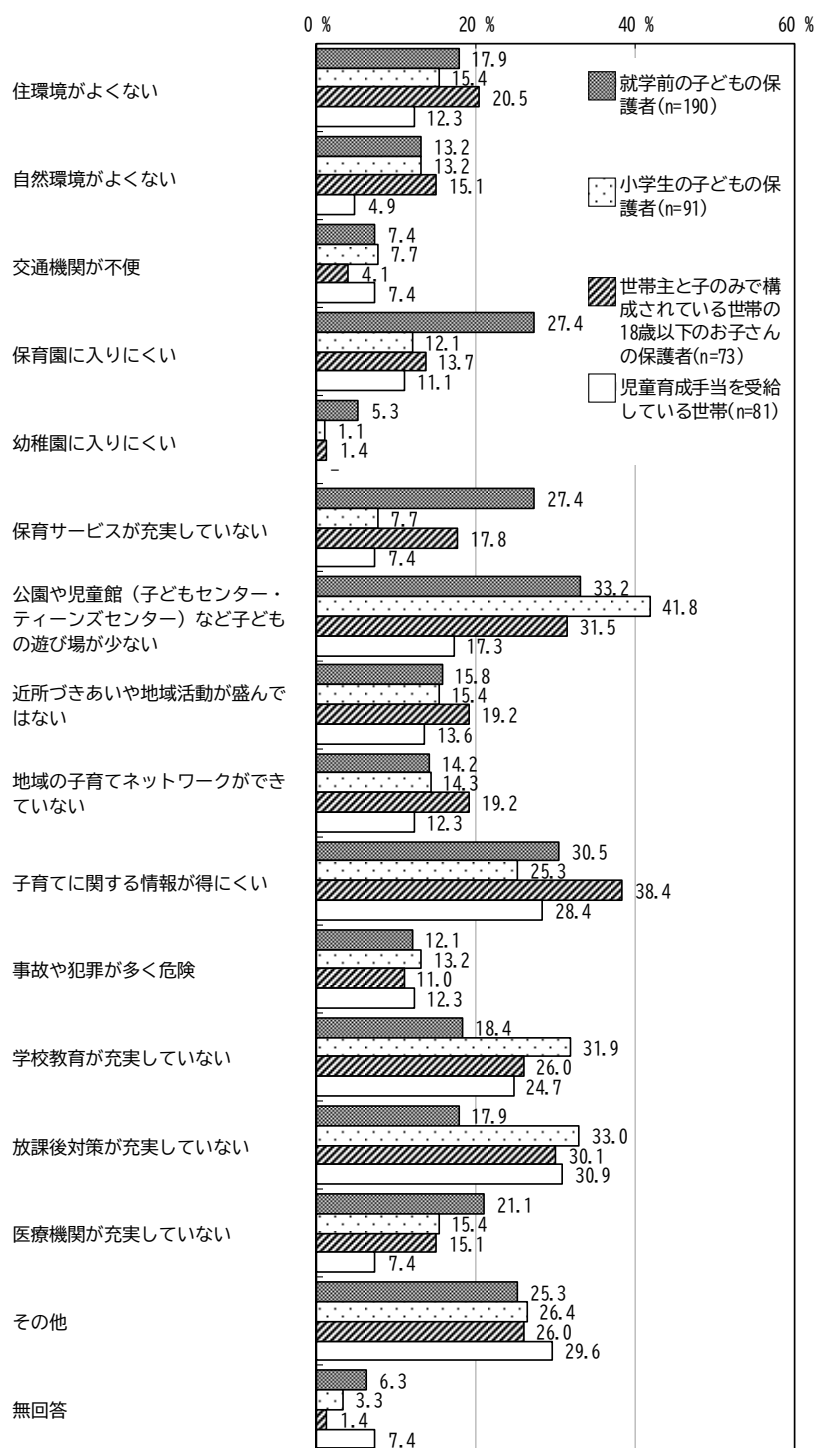
満足度が高い理由をみると、どの調査種別でも「交通機関が便利」が最も高く、6割を超えている。



(6) 満足度が低い理由（複数回答）

【「1. 満足していない」「2. あまり満足していない」と回答した方にうかがいます】
 問 満足していない理由をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

満足度が低い理由をみると、就学前の子どもの保護者、小学生の子どもの保護者は「公園や児童館（子どもセンター・ティーンズセンター）など子どもの遊び場が少ない」が順に3割強、4割強、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は「子育てに関する情報が得にくい」が4割弱、児童育成手当を受給している世帯は「放課後対策が充実していない」が3割と最も高くなっている。

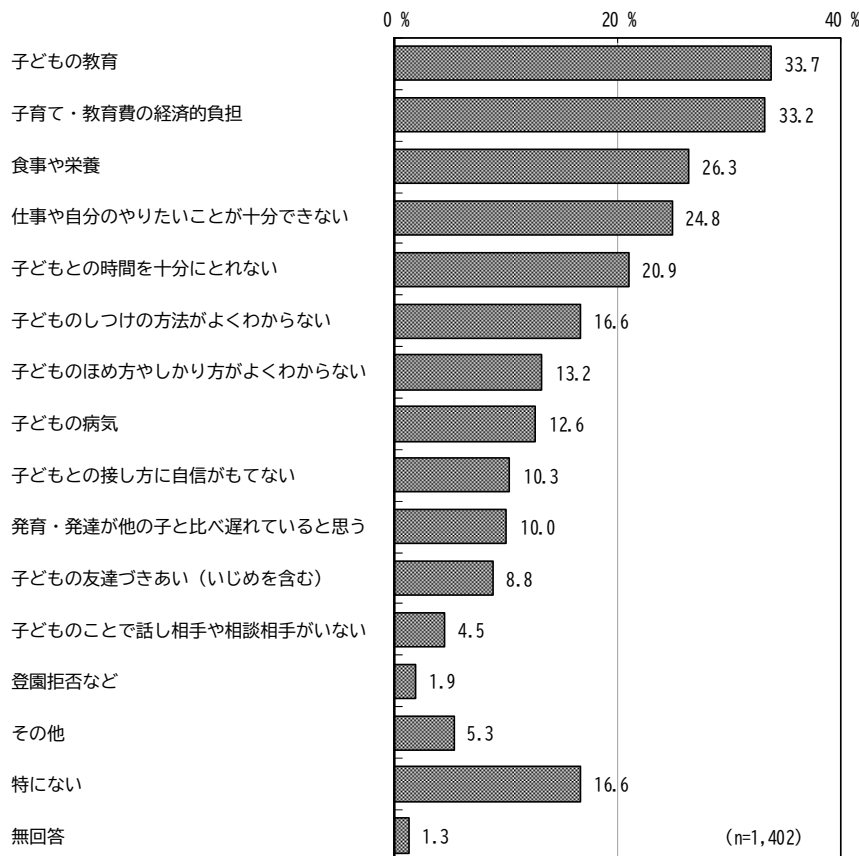


3 就学前の子どもの保護者

(1) 子育てに関して悩んでいること・気になること（複数回答）

問 子育てに関して悩んでいること、または気になることがありますか。

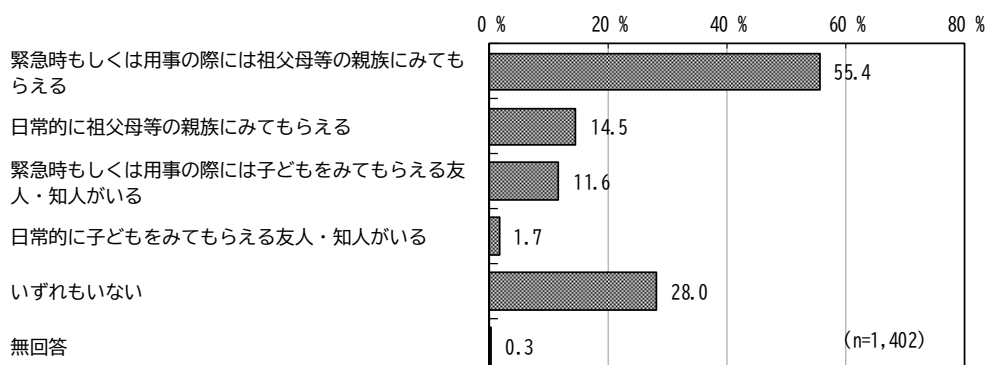
子育てに関して悩んでいること・気になることは、「子どもの教育」「子育て・教育費の経済的負担」が3割半ばと高く、「食事や栄養」が2割半ばと続いている。



(2) 子どもをみてもらえる親族・知人の有無（複数回答）

問 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。

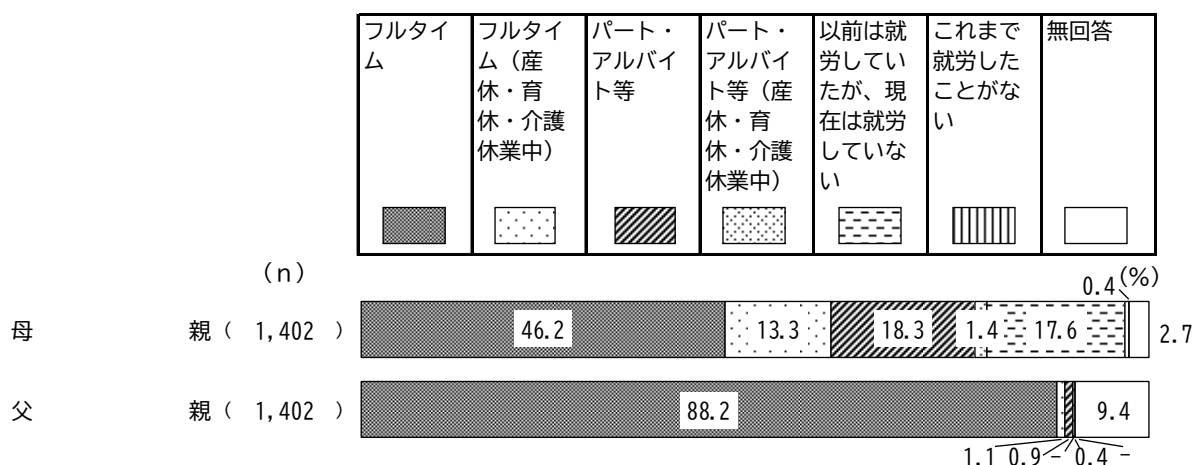
子どもをみてもらえる親族・知人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が5割半ばと最も高くなっている。



(3) 保護者の就労状況

問 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

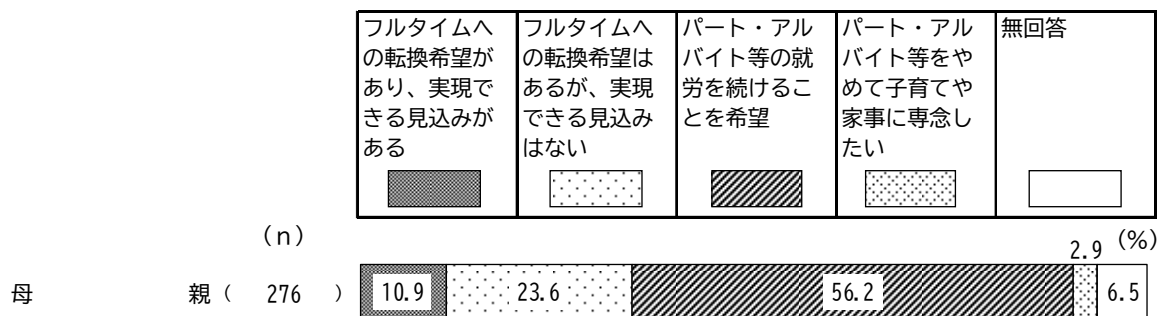
保護者の就労状況を見ると、母親は“フルタイム”（「フルタイム」+「フルタイム（産休・育休・介護休業中）」）が6割弱となっている。父親は「フルタイム」が9割弱となっている。



(4) パート・アルバイトの場合のフルタイムへの転換希望（母親）

問 フルタイムへの転換希望はありますか。

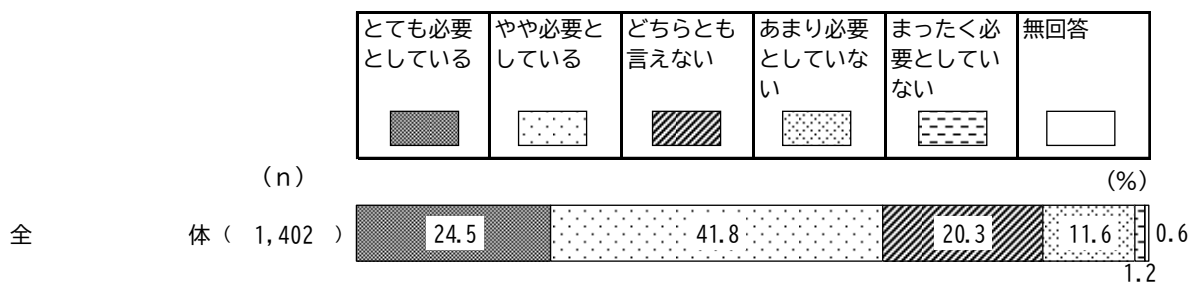
パート・アルバイトの場合のフルタイムへの転換希望を見ると、母親は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が5割半ばと最も高くなっている。



(5) 子育てにあたっての地域の支えの必要性

問 あなたは子育てをするにあたり、地域の支えを必要としていますか。

子育てにあたっての地域の支えの必要性は、“必要としている”（「とても必要としている」+「やや必要としている」）6割半ばとなっている。



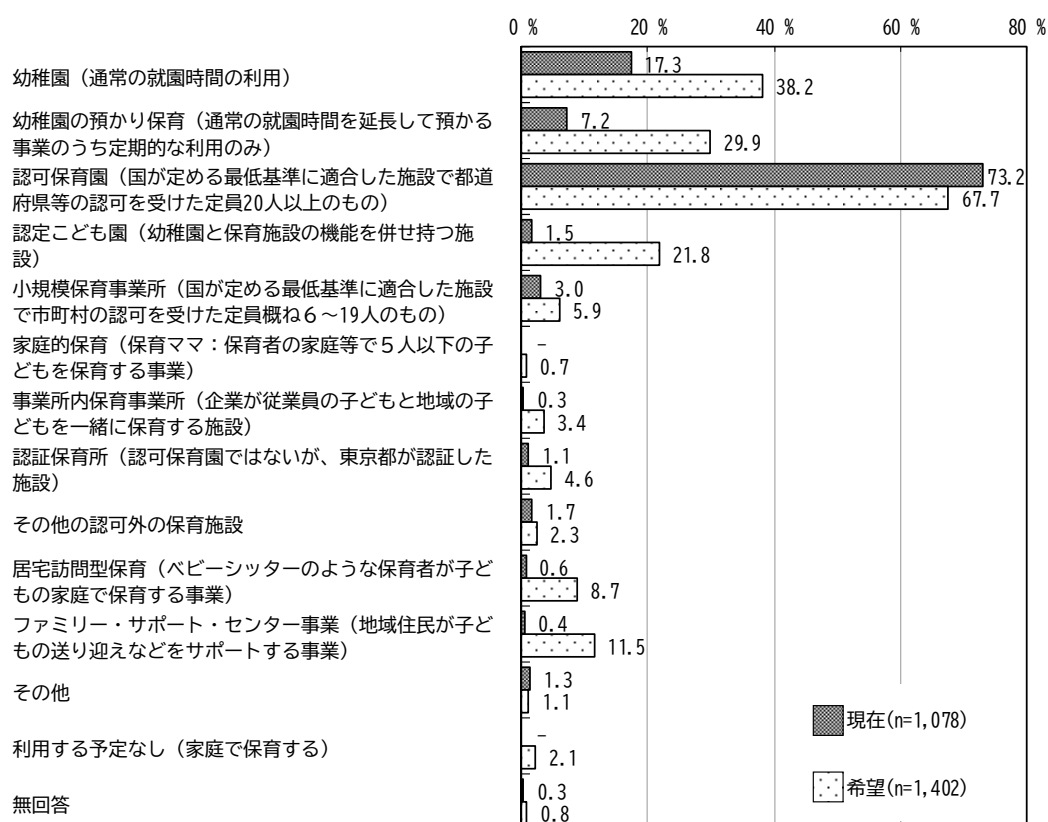
(6) 定期的に利用している、又は利用したい教育・保育事業（複数回答）

問 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の施設や事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。

問 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。

定期的に利用している教育・保育事業は、「認可保育園（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの）」が7割強と最も高い。

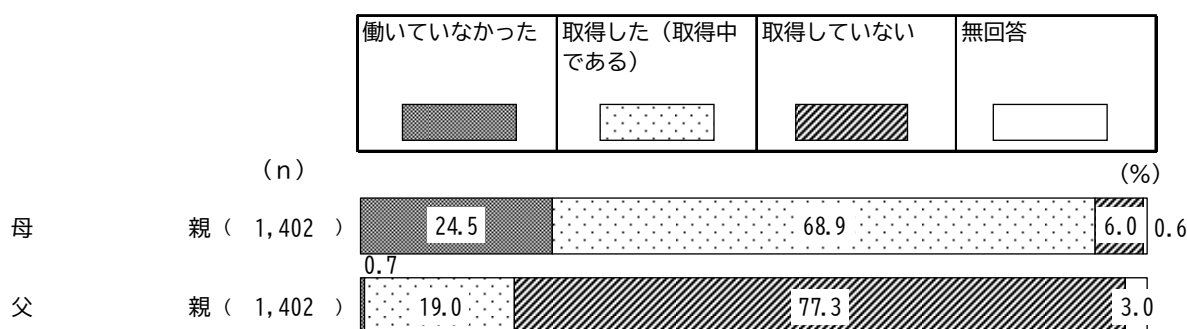
定期的に利用したい教育・保育事業も「認可保育園（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの）」が7割弱と最も高い。



(7) 育児休業の取得の有無

問 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。

育児休業の取得の有無をみると、「取得した（取得中である）」は、母親が7割弱、父親が2割弱となっている。

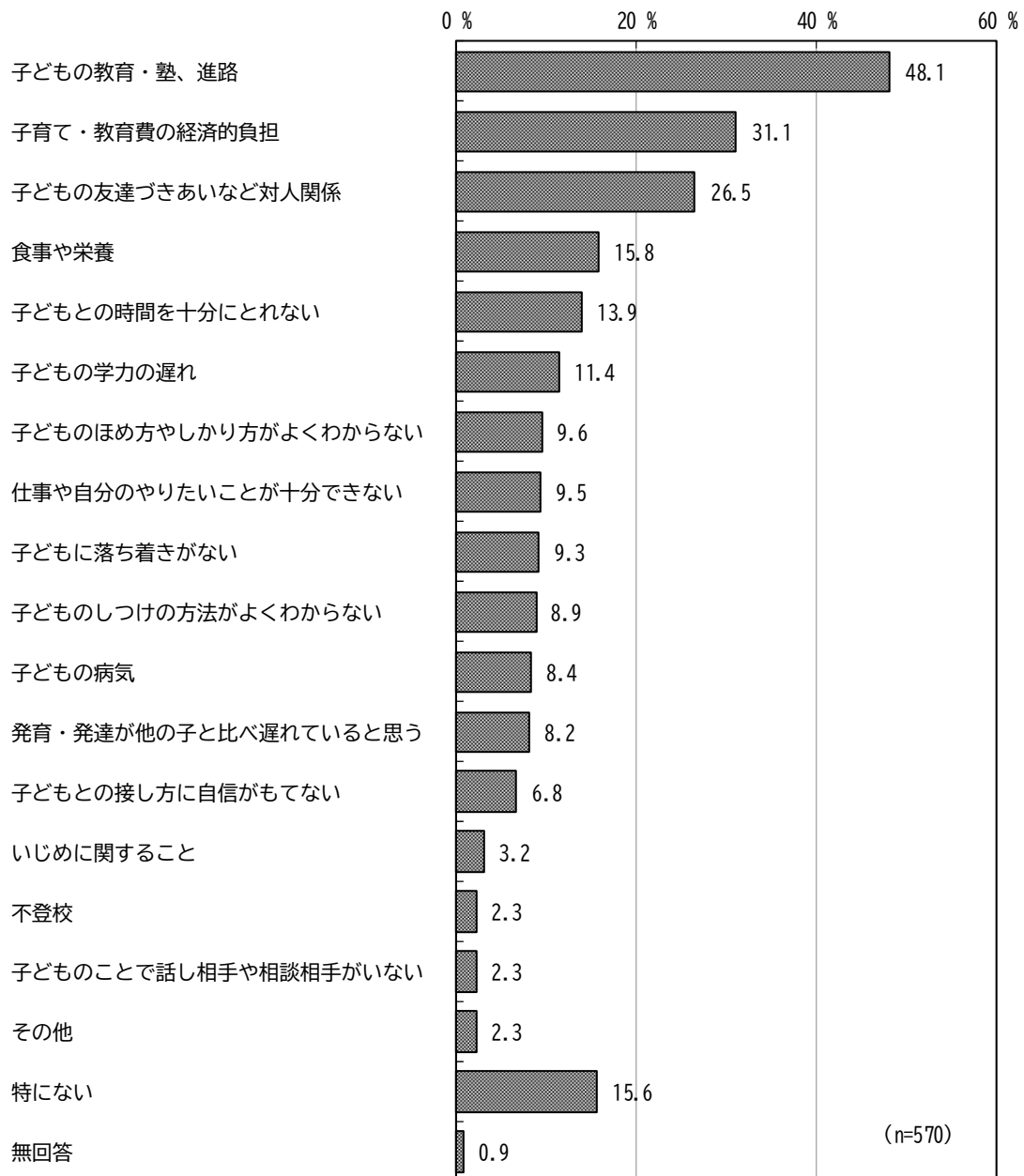


4 小学生の子ども保護者

(1) 子育てに関して悩んでいること・気になること（複数回答）

問 子育てに関して悩んでいること、または気になることがありますか。

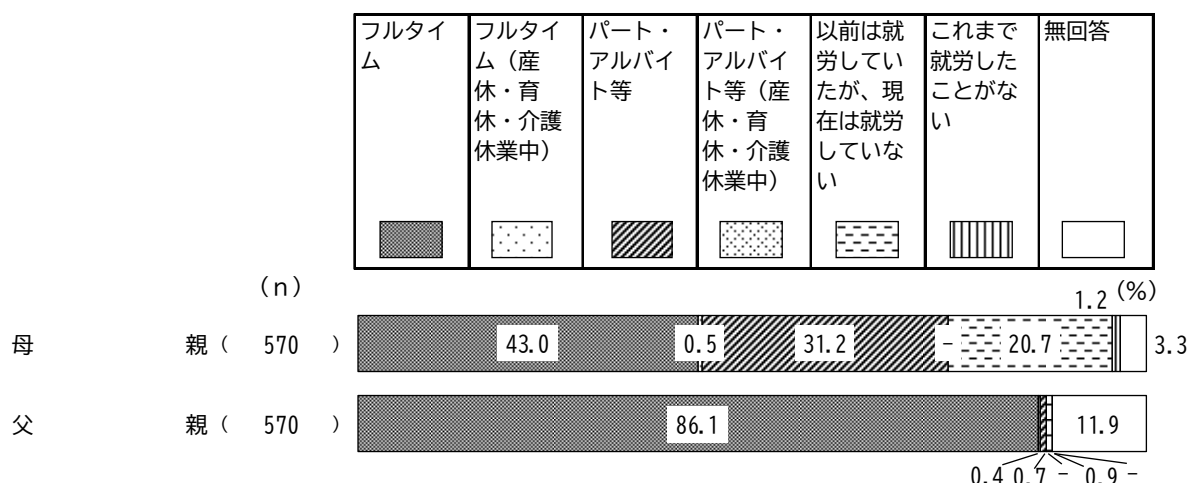
子育てに関して悩んでいること・気になることは、「子どもの教育・塾、進路」が5割弱と最も高く、次いで「子育て・教育費の経済的負担」が3割強、「子どもの友達づきあいなど対人関係」が2割半ばと続いている。



(2) 保護者の就労状況

問 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

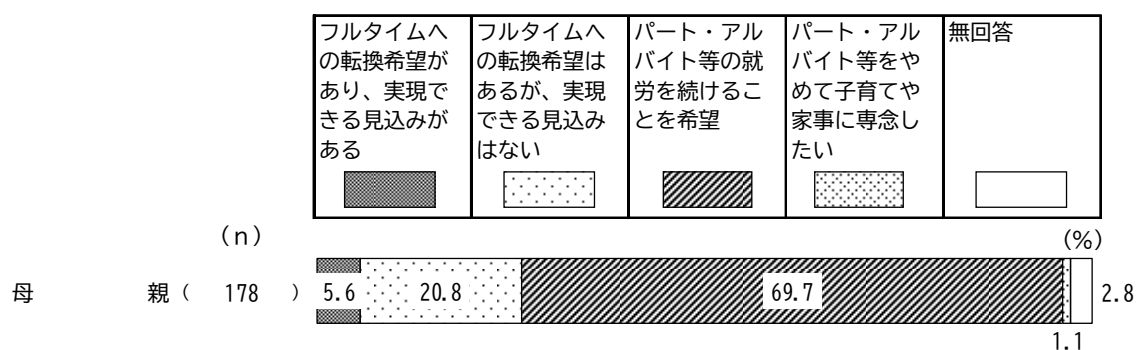
保護者の就労状況を見ると、母親は“フルタイム”（「フルタイム」+「フルタイム（産休・育休・介護休業中）」）が4割半ばとなっている。父親は「フルタイム」が8割半ばとなっている。



(3) パート・アルバイトの場合のフルタイムへの転換希望（母親）

問 フルタイムへの転換希望はありますか。

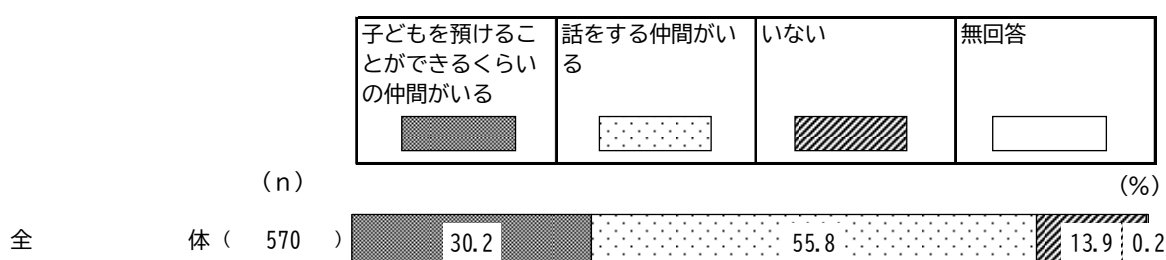
パート・アルバイトの場合のフルタイムへの転換希望を見ると、母親は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が7割弱と最も高くなっている。



(4) 子育ての仲間

問 あなたの周りには子育ての仲間がいますか。

子育ての仲間は、「子どもを預けることができるくらいの仲間がいる」が3割、「話をする仲間がいる」が5割半ば、「いない」が1割半ばとなっている。

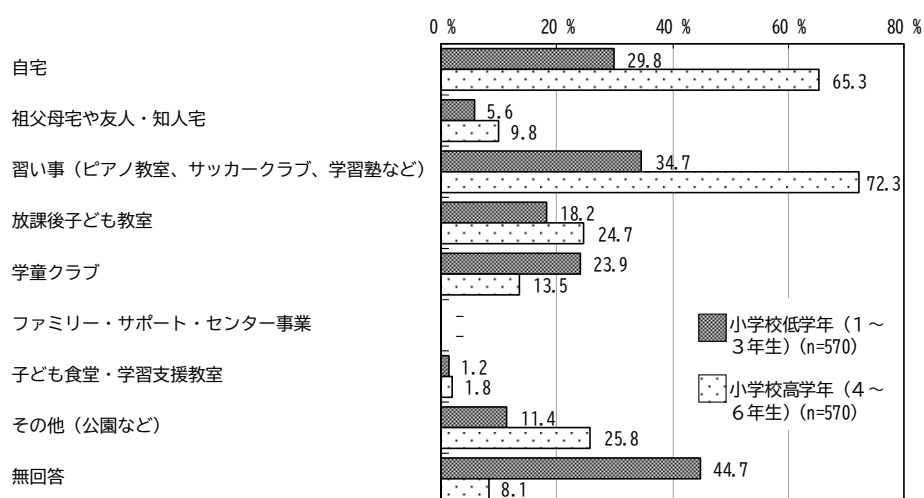


(5) 放課後過ごさせたい場所（複数回答）

問 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

問 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

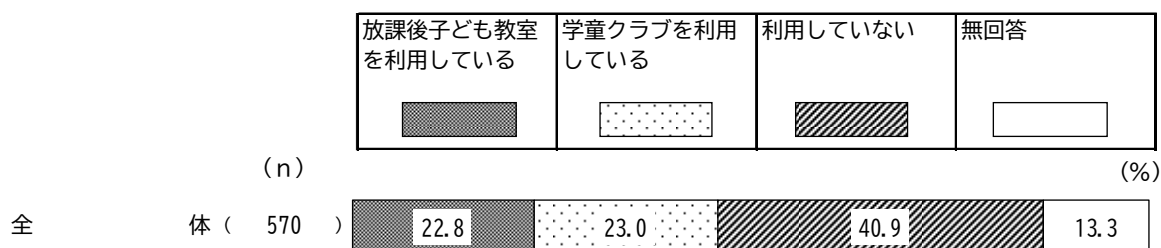
放課後過ごさせたい場所をみると、小学校低学年のうちは「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が3割半ばと最も高く、次いで「自宅」が3割、「学童クラブ」が2割半ばと続いている。小学校高学年も「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が7割強と最も高く、次いで「自宅」が6割半ば、「放課後子ども教室」が2割半ばと続いている。



(6) 放課後子ども教室、学童クラブの利用状況

問 現在、宛名のおさんは、放課後子ども教室、または、学童クラブを利用していますか。

放課後子ども教室、学童クラブの利用状況は、「放課後子ども教室を利用している」「学童クラブを利用している」がともに2割強、「利用していない」が4割強となっている。



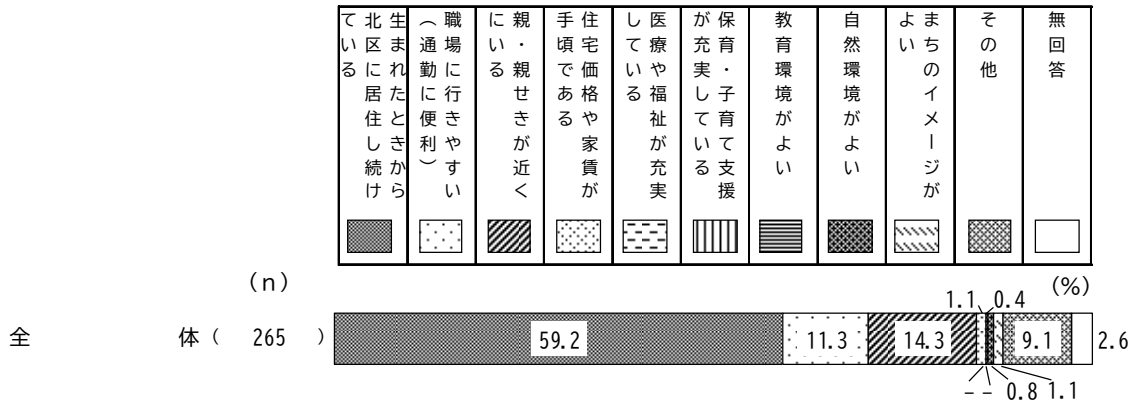
5

25～39歳の区民

(1) 北区に住んでいる理由

問 北区にお住まいの理由をお答えください。

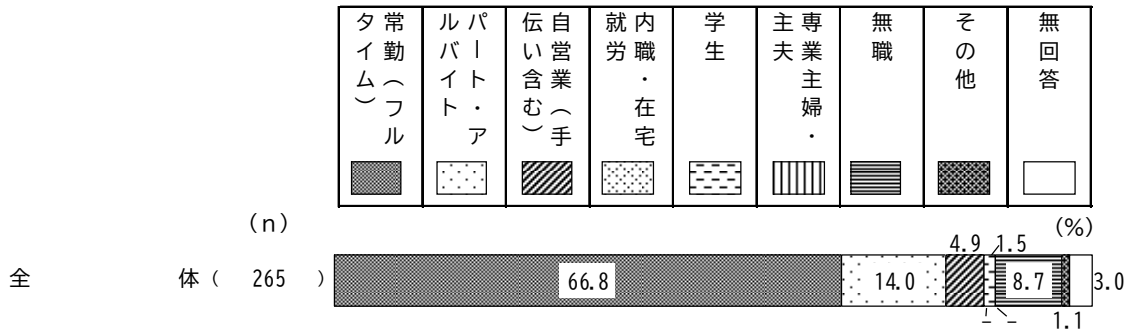
居住理由は、「生まれたときから北区に居住し続けている」が6割と最も高く、次いで「親・親せきが近くにいる」が1割半ば、「職場に行きやすい(通勤に便利)」が1割強となっている。



(2) 就労状況

問 現在のあなたの職業は、次のうちどれにあてはまりますか。

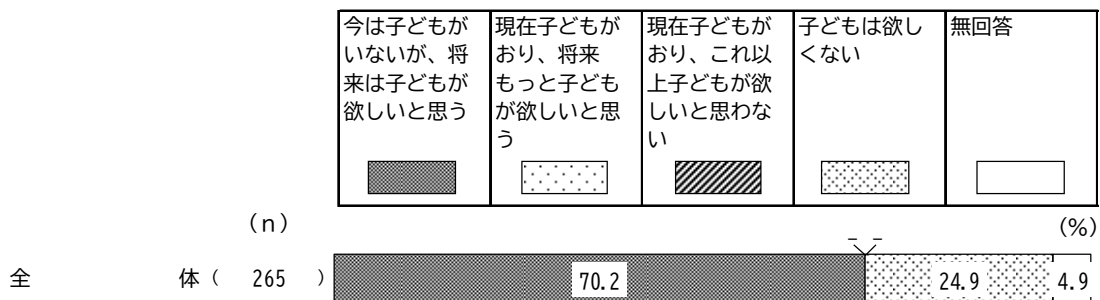
就労状況は、「常勤(フルタイム)」が6割半ばと最も高く、次いで「パート・アルバイト」が1割半ば、「無職」が1割弱となっている。



(3) 子どもを持つことについて

問 あなたの子どもについてのお考えは、以下のどれにあてはまりますか。

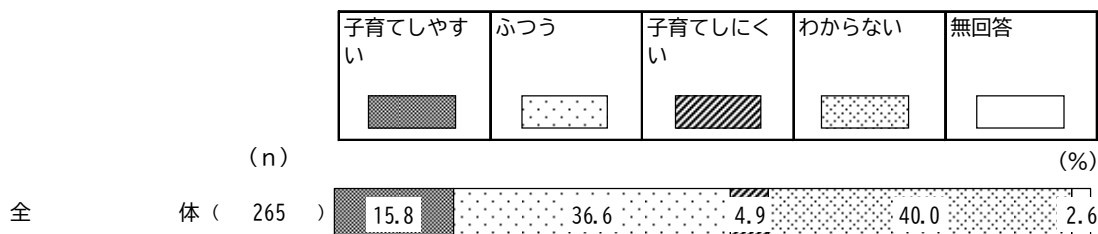
子どもを持つことについては、「今は子どもがいないが、将来は子どもが欲しいと思う」が7割、「子どもは欲しくない」が2割半ばとなっている。



(4) 北区の子育てのしやすさ (イメージ)

問 北区は総合的にみて、子育てしやすいところだと思いますか。お子さんがいない方はイメージでお答えください。

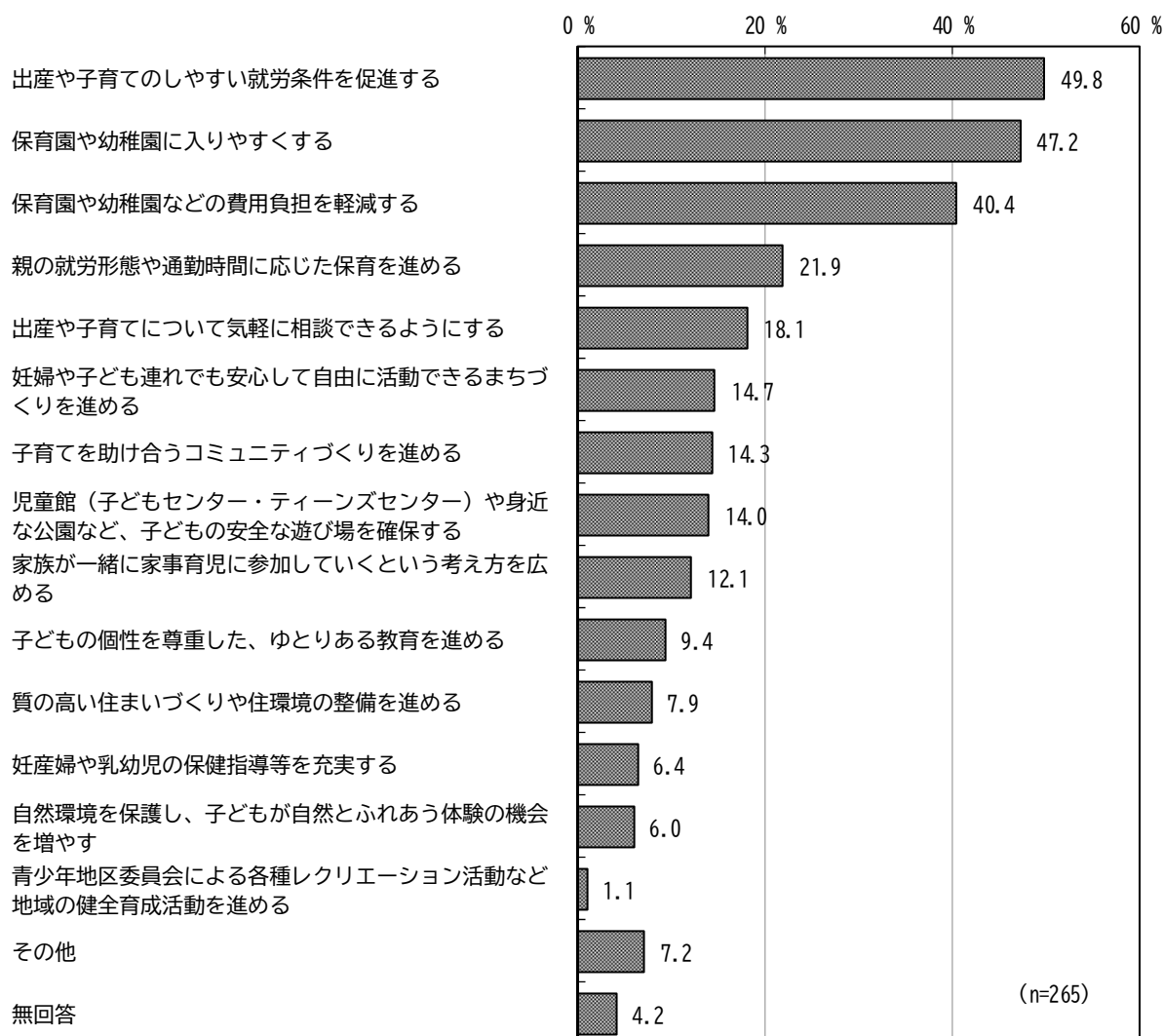
北区の子育てのしやすさ (イメージ) は、「わからない」が4割と最も高く、次いで「ふつう」が3割半ば、「子育てしやすい」が1割半ばとなっている。



(5) 子どもを健やかに産み育てるために必要と思われること (複数回答)

問 子どもを健やかに産み育てるために必要と思われることはどのようなことですか。

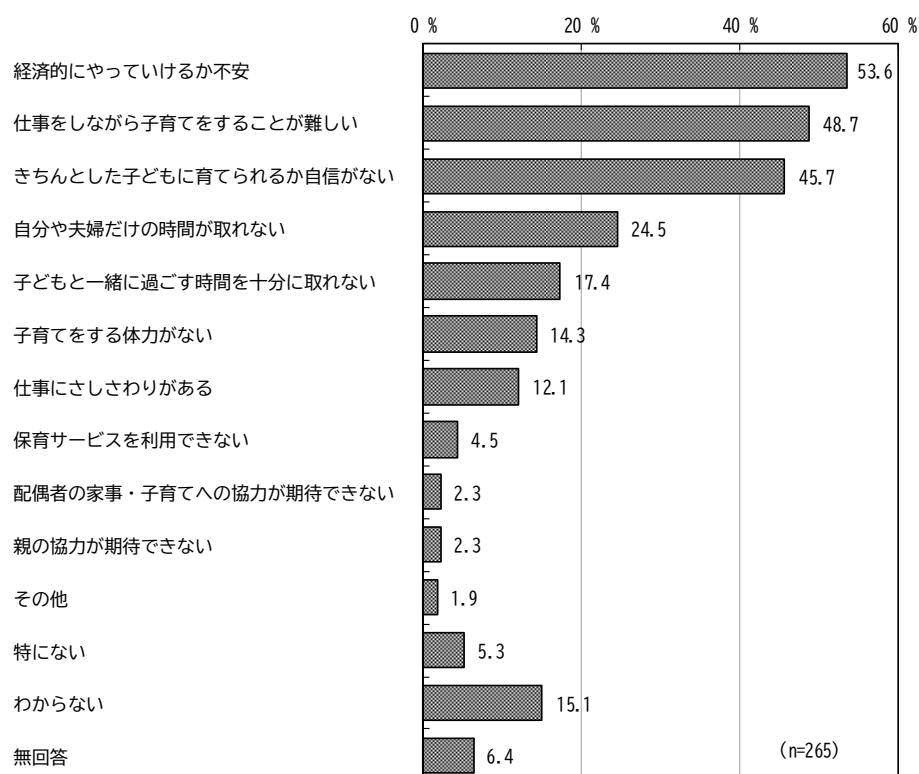
子どもを健やかに産み育てるために必要と思われることは、「出産や子育てのしやすい就労条件を促進する」が5割と最も高く、次いで「保育園や幼稚園に入りやすくする」が4割半ば、「保育園や幼稚園などの費用負担を軽減する」が4割と続いている。



(6) 子育てで不安に思っていること（複数回答）

問 あなたが、子育てで不安に思っていることは何ですか。

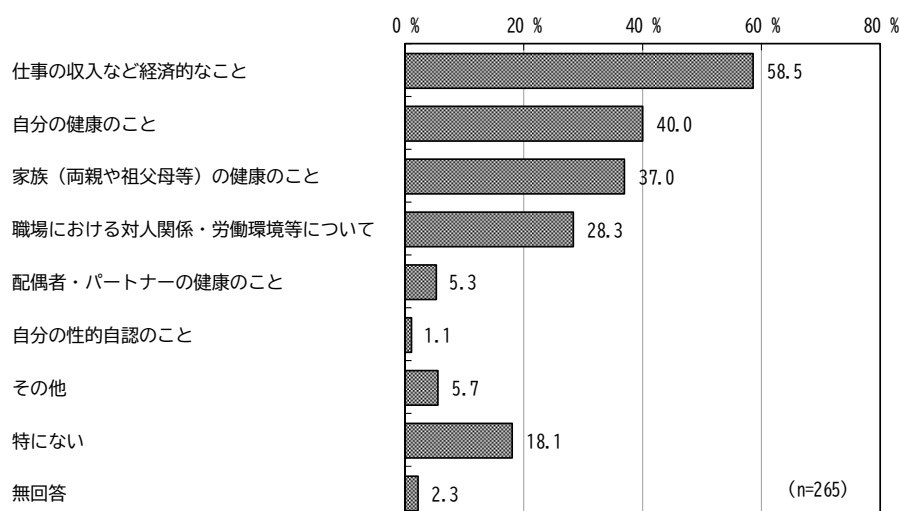
子育てで不安に思っていることは、「経済的にやっていけるか不安」が5割半ばと最も高く、次いで「仕事をしながら子育てをすることが難しい」が5割弱、「きちんとした子どもに育てられるか自信がない」が4割半ばと続いている。



(7) 悩みごと（複数回答）

問 あなたが、今悩んでいることはどのようなことですか。

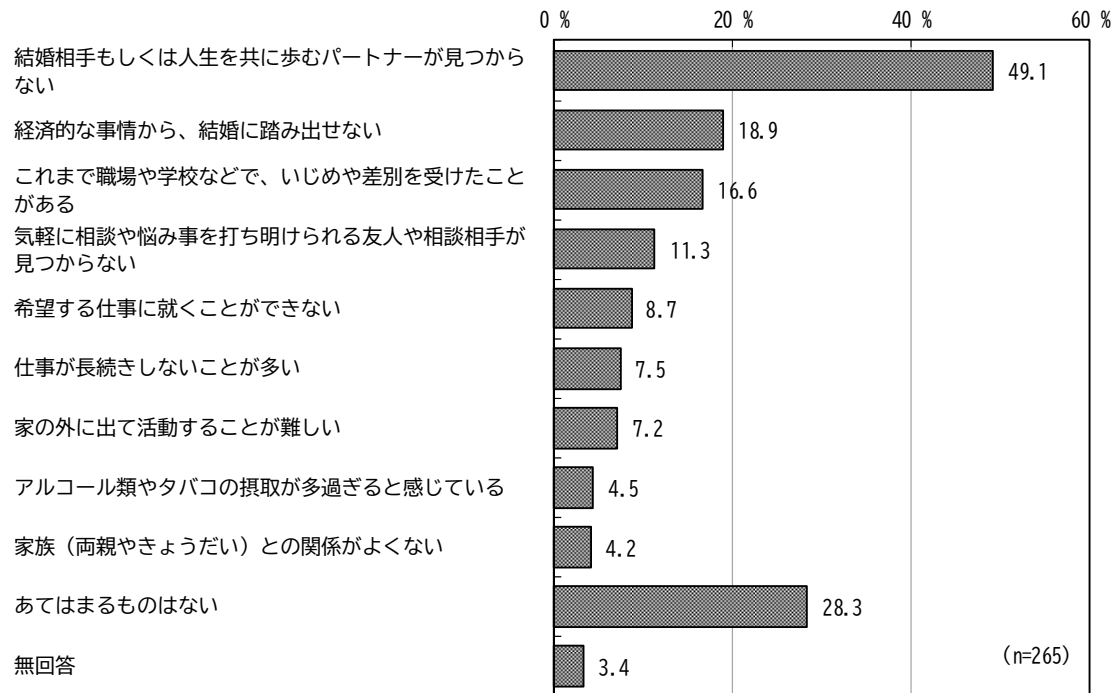
悩みごとは、「仕事の収入など経済的なこと」が6割弱と最も高く、次いで「自分の健康のこと」が4割、「家族（両親や祖父母等）の健康のこと」が3割半ばと続いている。



(8) 自分にあてはまること（複数回答）

問 あなたご自身にあてはまることがありますか。

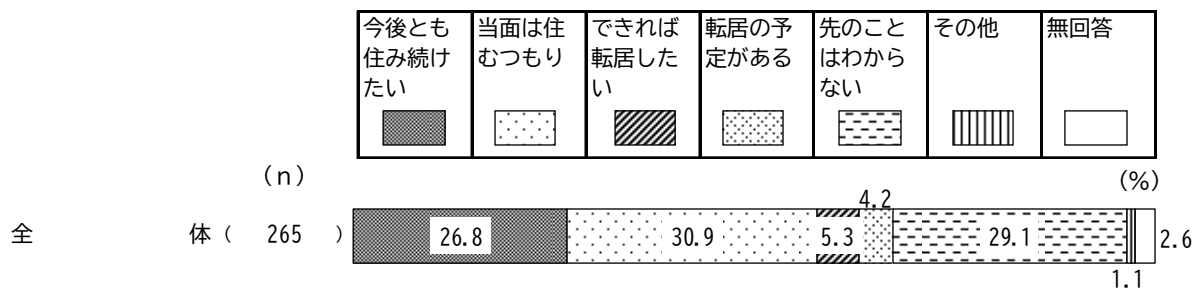
自分にあてはまることは、「結婚相手もしくは人生を共に歩むパートナーが見つからない」が5割と最も高い。



(9) 今後の定住意向

問 あなたは、北区に住み続けたいと思いますか。

今後の定住意向は、「当面は住むつもり」が3割と最も高く、次いで「先のことはわからない」が3割弱、「今後とも住み続けたい」が2割半ばとなっている。



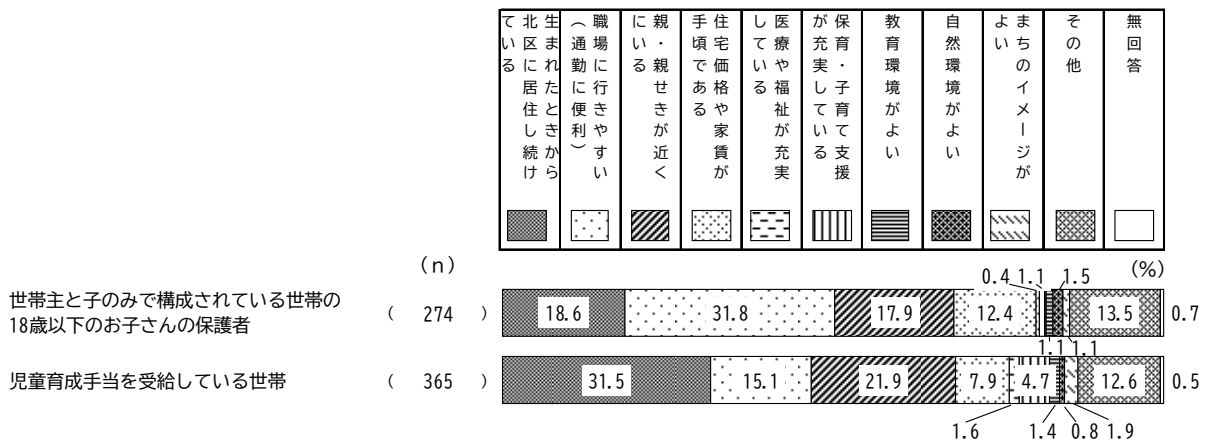
6

世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者及び児童育成手当を受給している世帯

(1) 北区に住んでいる理由

問 北区にお住まいの理由をお答えください。

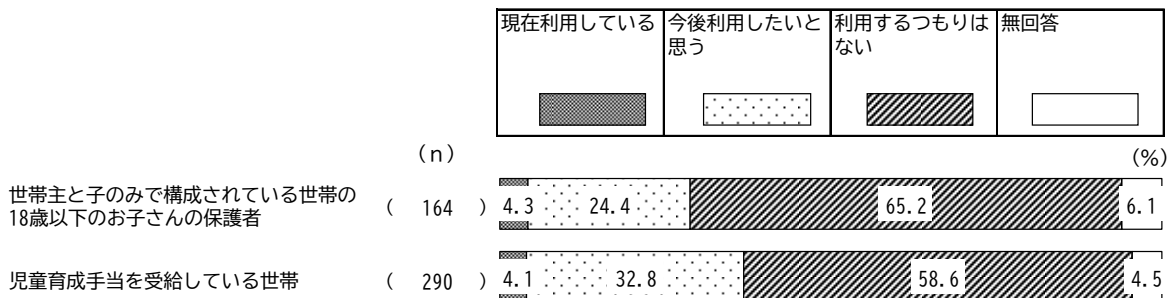
居住理由をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「職場に行きやすい（通勤に便利）」が3割強、児童育成手当を受給している世帯は、「生まれたときから北区に居住し続けている」が3割強と最も高い。



(2) 子ども食堂などの居場所の利用意向

問 宛名のお子さんについて、子ども食堂などの居場所があった場合、利用したいと思いますか。

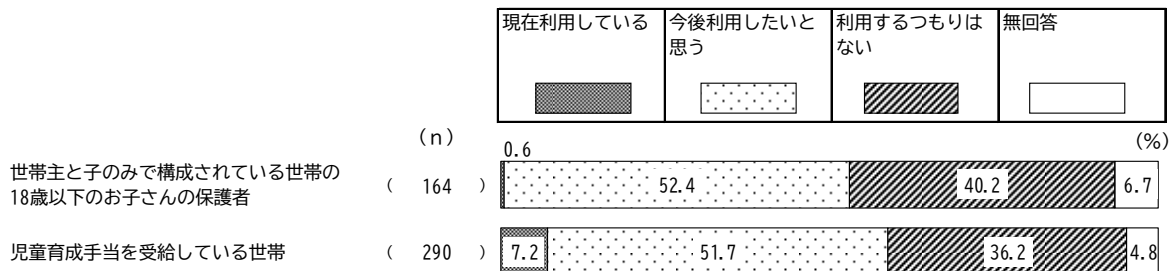
子ども食堂などの居場所の利用意向をみると、「現在利用している」は、ともに1割未満、「今後利用したいと思う」は、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者が2割半ば、児童育成手当を受給している世帯が3割強となっている。



(3) 無料の学習支援制度の利用意向

問 宛名のお子さんについて、学生ボランティア等による、無料の学習支援制度（学習の手助けなど）があった場合、利用したいと思いますか。

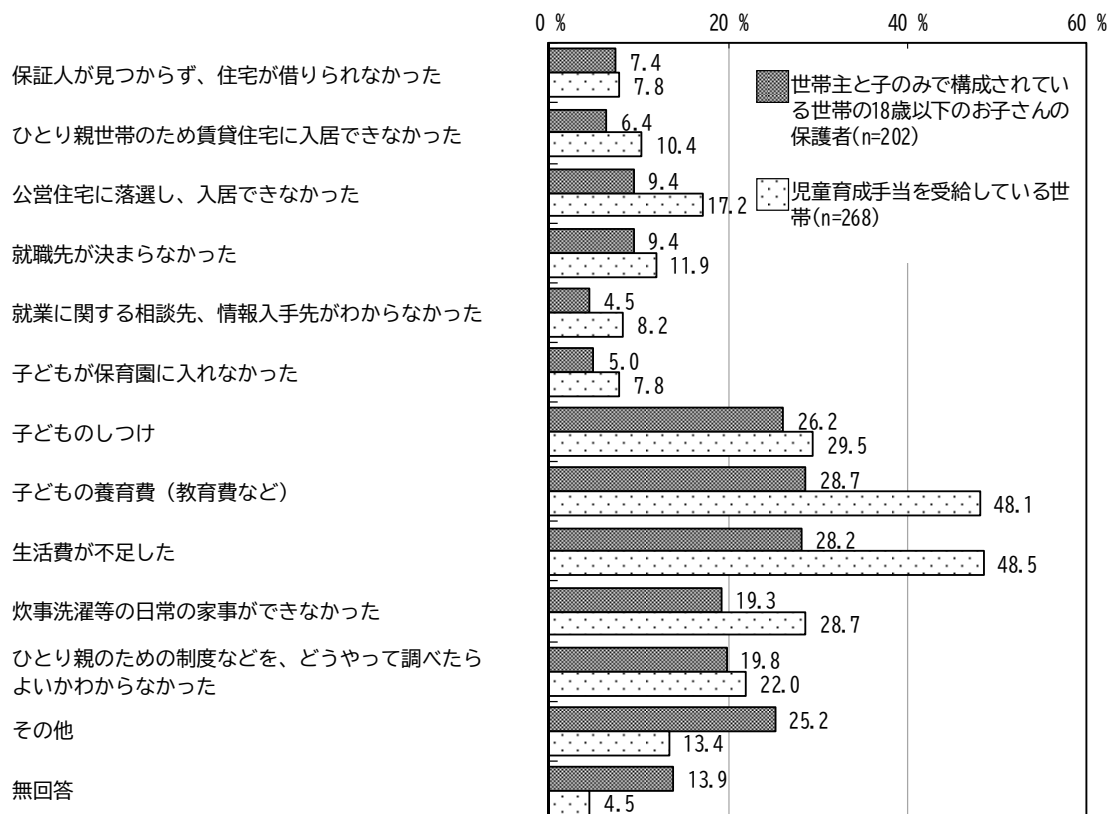
無料の学習支援制度の利用意向をみると、「現在利用している」は、児童育成手当を受給している世帯が1割未満、「今後利用したいと思う」は、ともに5割強となっている。



(4) ひとり親世帯の困りごと・悩み（複数回答）

問 ひとり親世帯になったときに、困ったこと、悩んだことをお答えください。

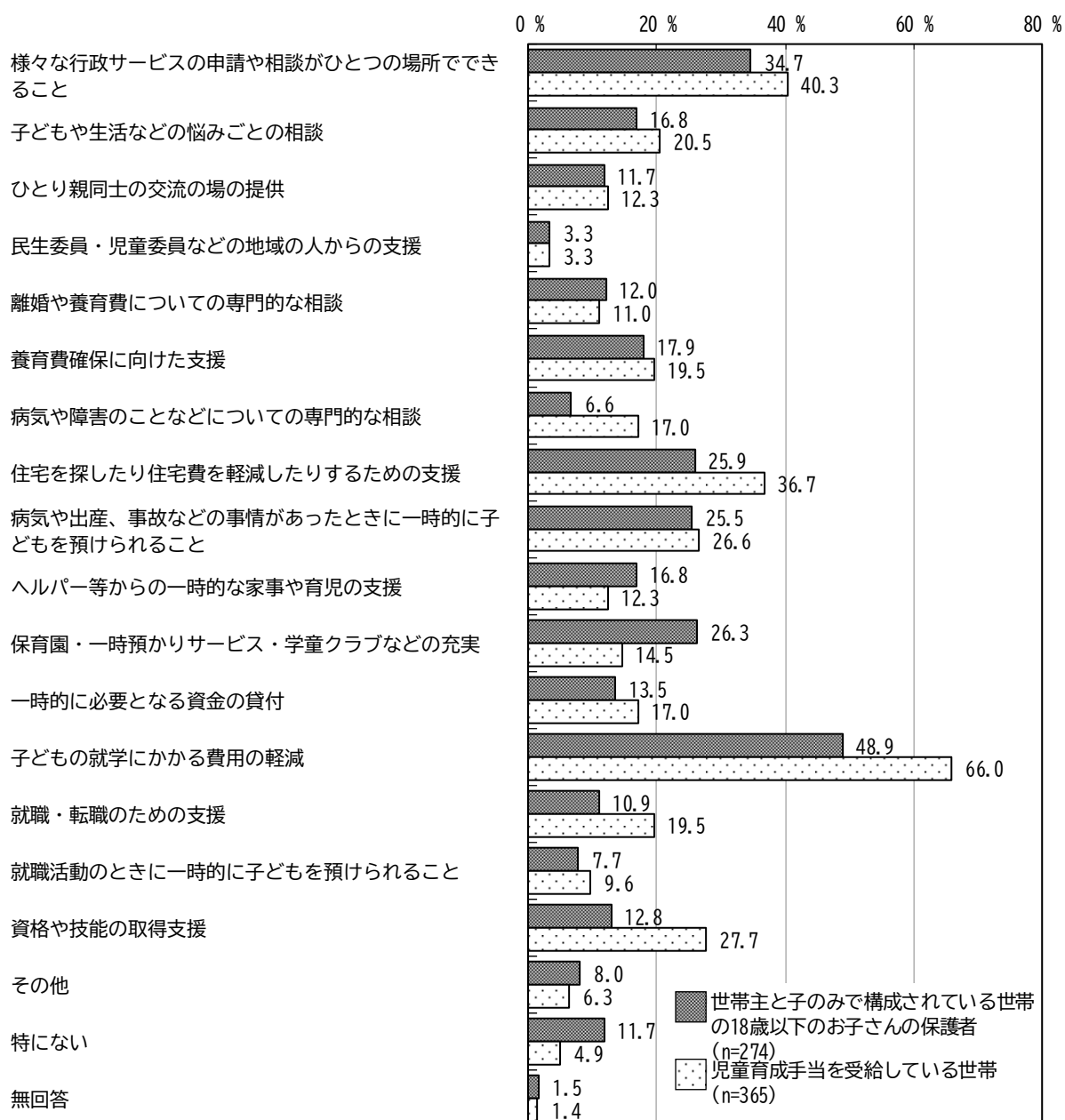
ひとり親世帯の困りごと・悩みをみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「子どもの養育費（教育費など）」「生活費が不足した」がともに3割弱と高い。児童育成手当を受給している世帯は、「生活費が不足した」「子どもの養育費（教育費など）」がともに5割弱と高い。



(5) 現在必要としていること、重要だと思う支援（複数回答）

問 あなたが現在必要としていること、重要だと思う支援等はどうのようなものですか。

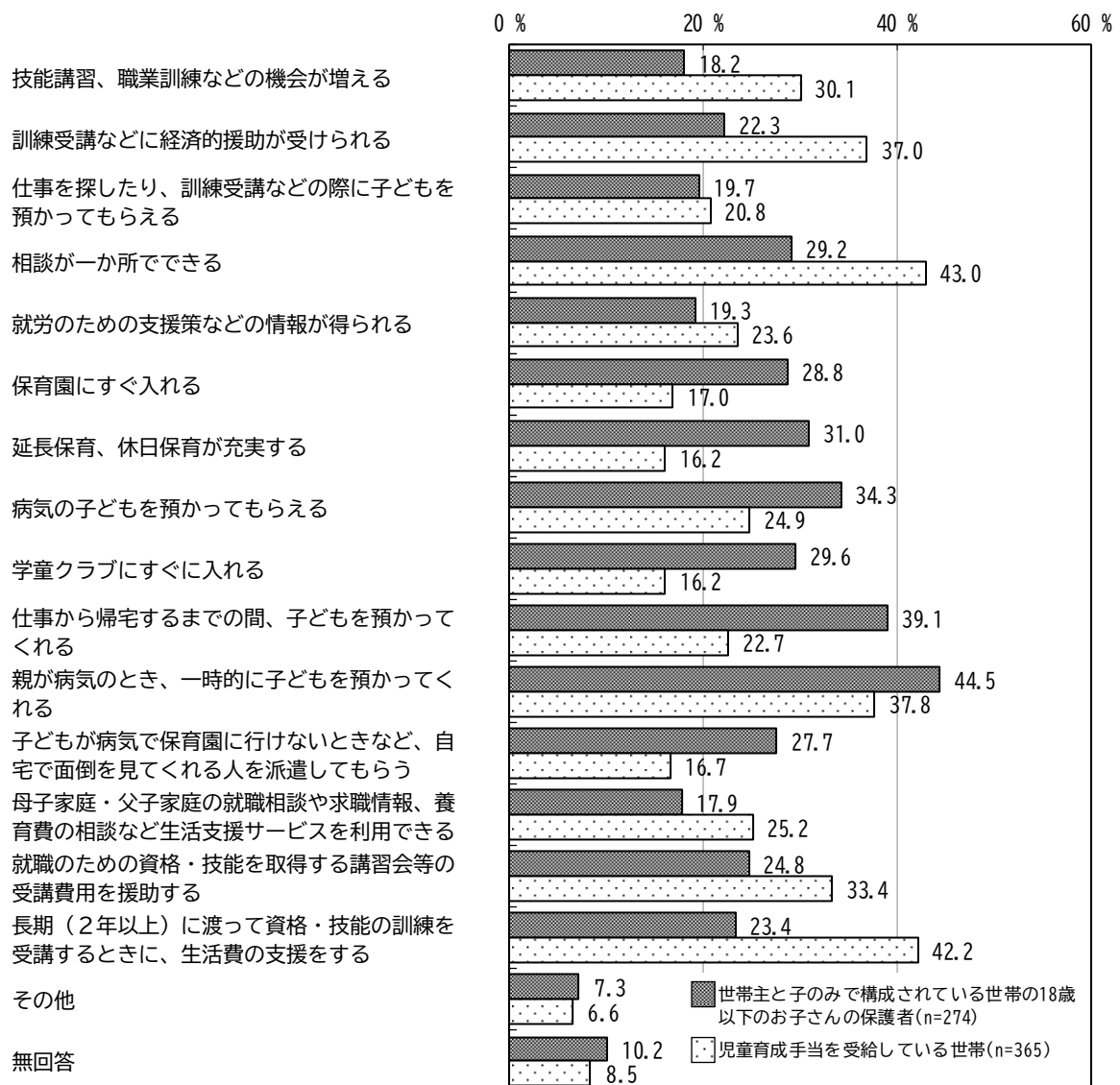
現在必要としていること、重要だと思う支援をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「子どもの就学にかかる費用の軽減」が5割弱と最も高く、次いで「様々な行政サービスの申請や相談がひとつの場所でできること」が3割半ば、「保育園・一時預かりサービス・学童クラブなどの充実」が2割半ばと続いている。児童育成手当を受給している世帯は、「子どもの就学にかかる費用の軽減」が6割半ばと最も高く、次いで「様々な行政サービスの申請や相談がひとつの場所でできること」が4割、「住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援」が3割半ばと続いている。



(6) 就労や仕事のために希望する区からの支援（複数回答）

問 あなたは就職や仕事のため、区からどのような支援を望みますか。

就労や仕事のために希望する区からの支援をみると、世帯主と子のみで構成されている世帯の18歳以下のお子さんの保護者は、「親が病気の時、一時的に子どもを預かってくれる」が4割半ばと最も高く、次いで「仕事から帰宅するまでの間、子どもを預かってくれる」が4割、「病気の子どもを預かってもらえる」が3割半ばと続いている。児童育成手当を受給している世帯は、「相談が一か所で行える」「長期（2年以上）に渡って資格・技能の訓練を受講するときに、生活費の支援をする」がともに4割強で高く、「親が病気の時、一時的に子どもを預かってくれる」が4割弱と続いている。

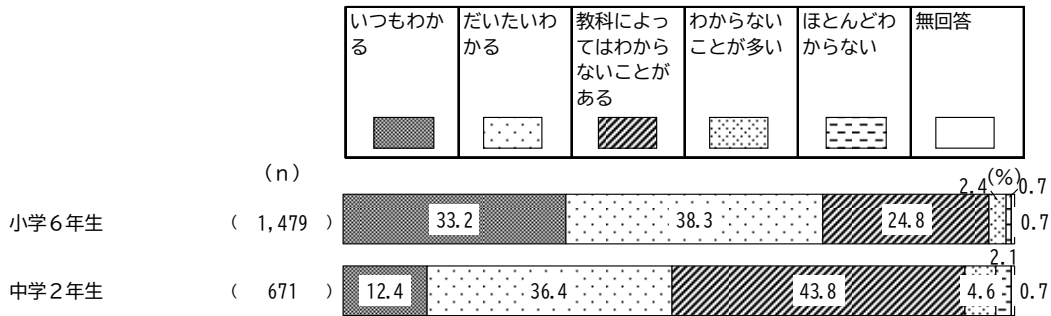


7 小学6年生・中学2年生・高校2年生世代

(1) 学校の授業がわからないことの有無

問 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。

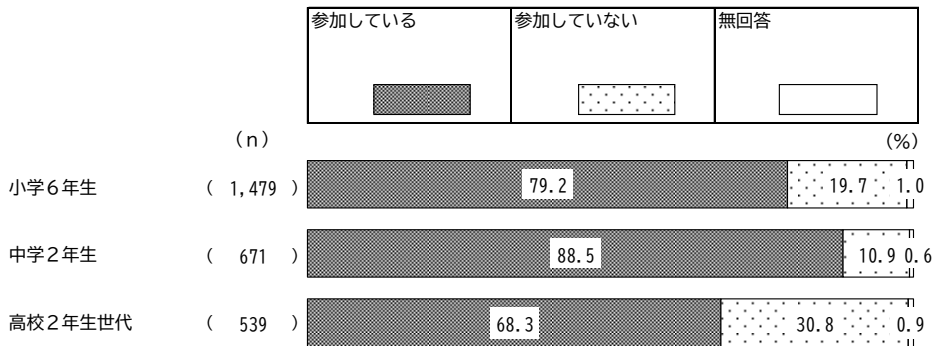
学校の授業がわからないことがあるかをみると、小学6年生は「だいたいわかる」が4割弱、中学2年生は、「教科によってはわからないことがある」が4割半ばと最も高い。



(2) 習い事や地域のスポーツクラブ、文化クラブ、学校の部活動への参加

問 あなたは、習い事や地域のスポーツクラブ、文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。

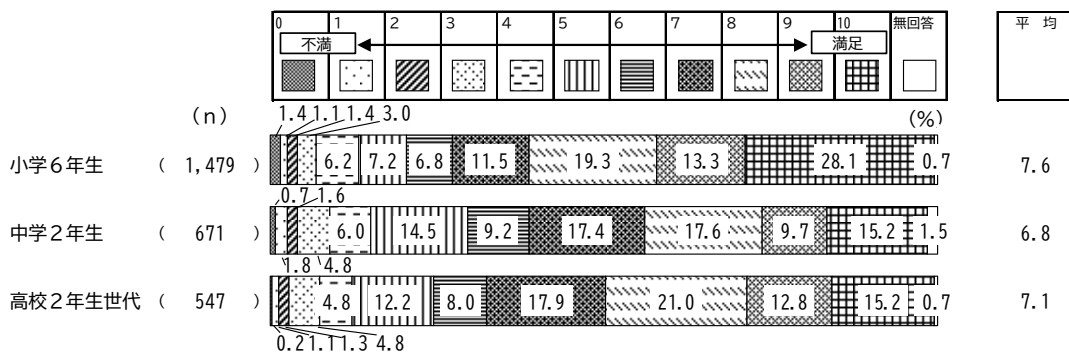
習い事や地域のスポーツクラブ、文化クラブ、学校の部活動への参加をみると、全ての調査種別において「参加している」が高く、7割弱から9割弱となっている。



(3) 生活の満足度

問 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。

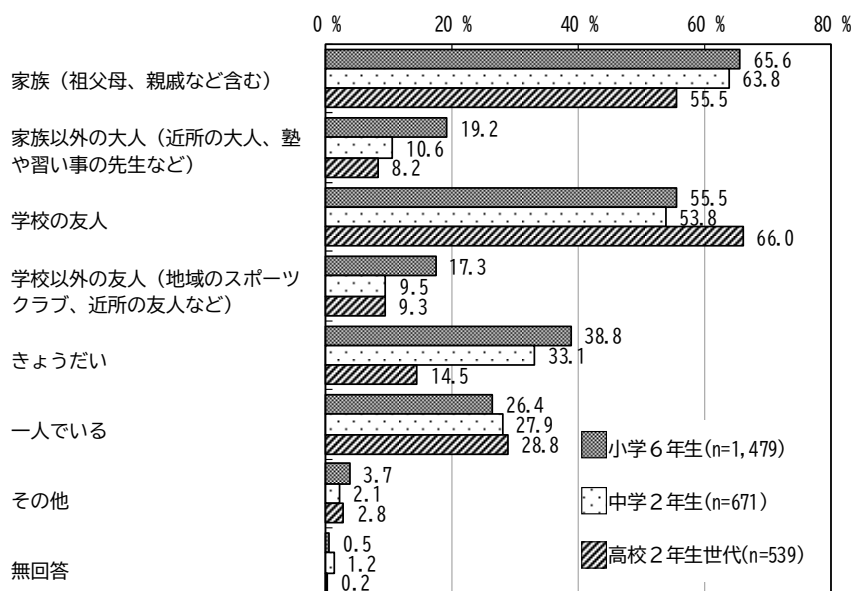
生活の満足度をみると、小学6年生は「10」が3割弱、中学2年生は「8」「7」がともに2割弱、高校2年生世代は「8」が2割強と最も高い。



(4) 放課後に、誰と過ごすことが多いか（複数回答）

問 放課後に、誰と過ごすことが多いですか。

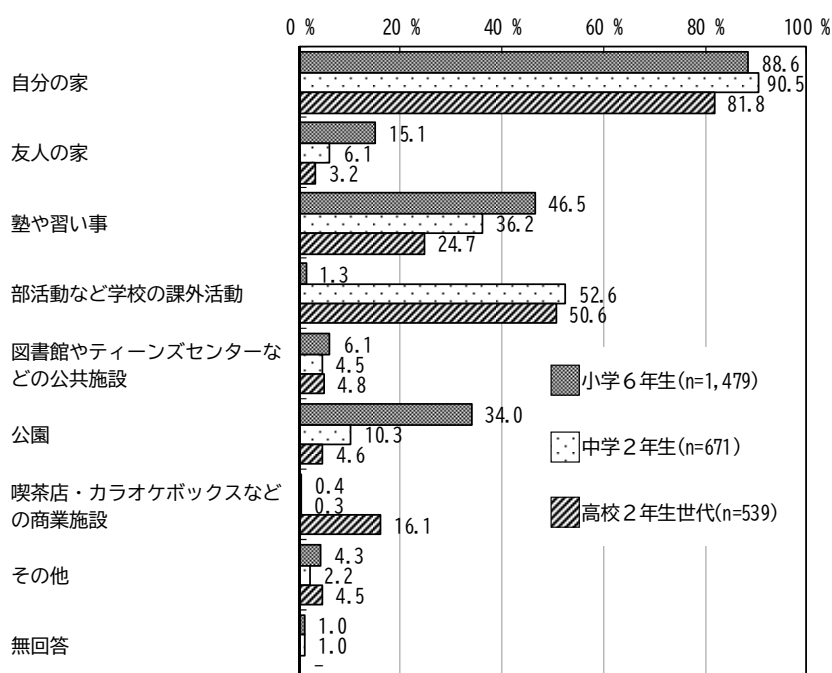
放課後に誰と過ごすことが多いかをみると、小学6年生、中学2年生は「家族（祖父母、親戚など含む）」がともに最も高く、6割半ばとなっている。高校2年生世代は、「学校の友人」が6割半ばと最も高い。



(5) 放課後に、どこで過ごすことが多いか（複数回答）

問 放課後に、どこで過ごすことが多いですか。

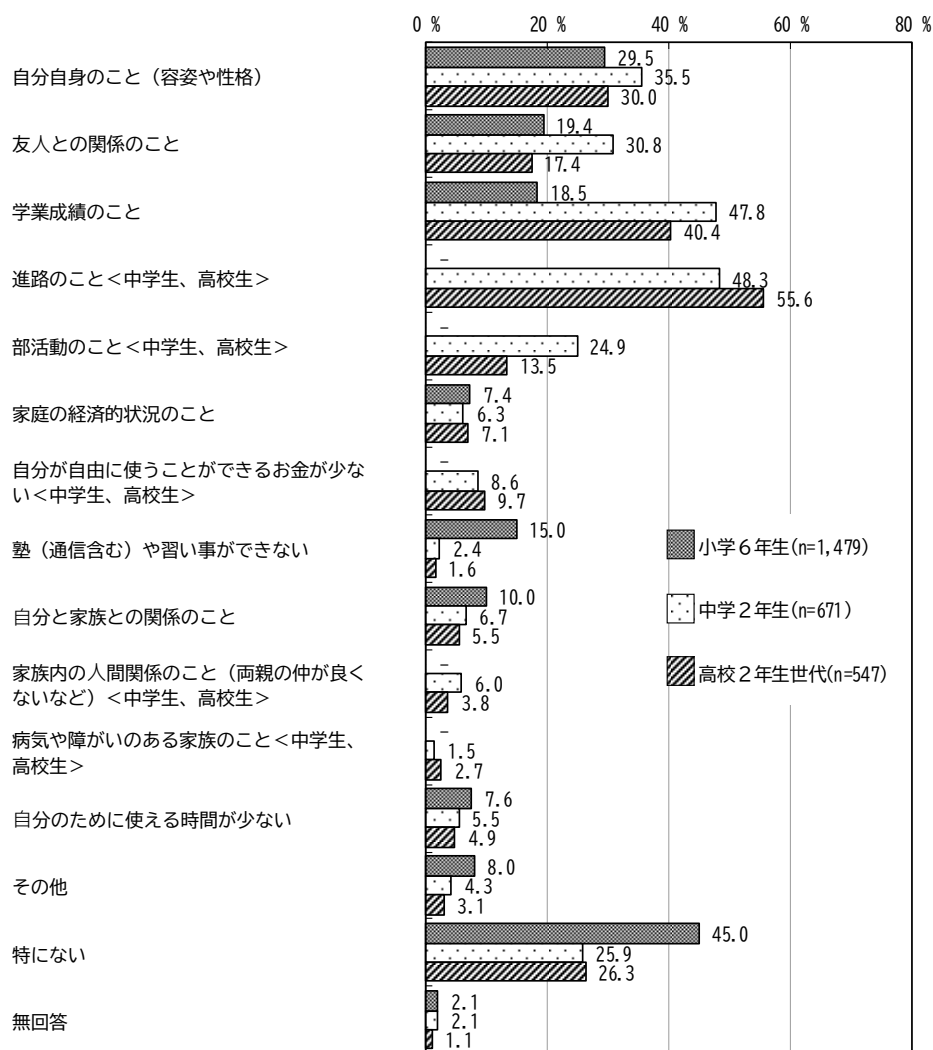
放課後にどこで過ごすことが多いかをみると、全ての調査種別において「自分の家」が最も高く、8割強から9割となっている。



(6) 悩み・困りごと（複数回答）

問 現在、悩んだり困っていることはありますか。

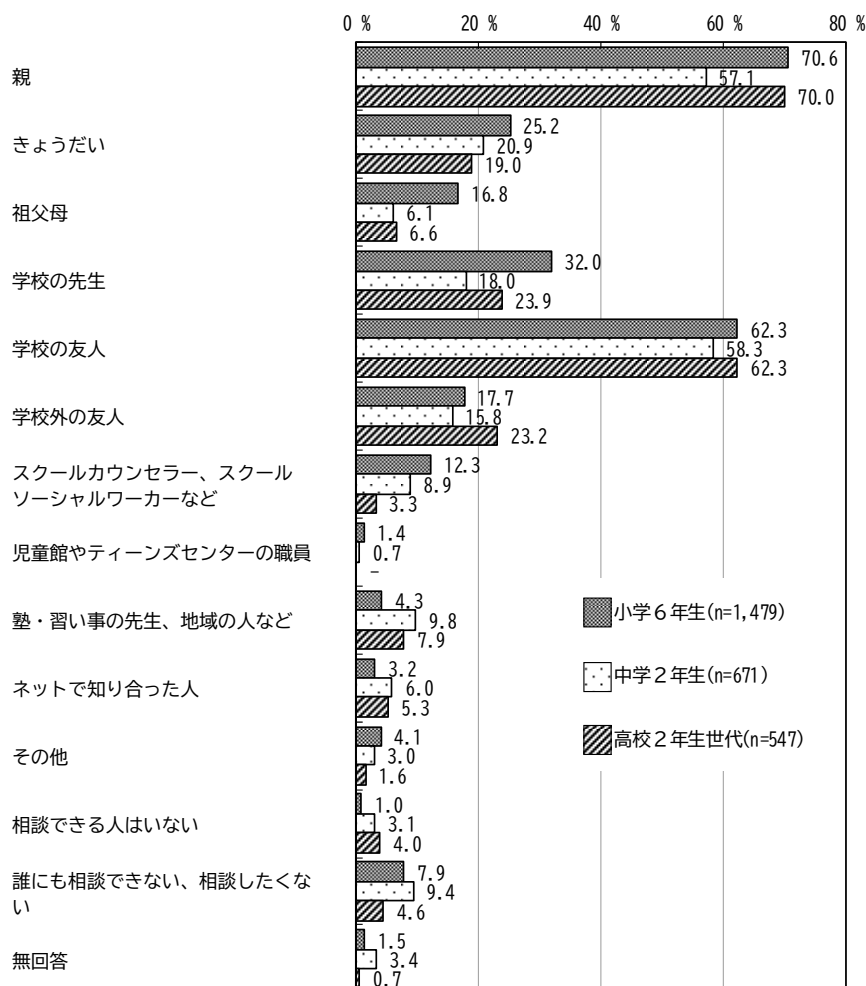
悩み・困りごとをみると、小学6年生は、「特にない」が4割半ば、中学2年生は、「進路のこと」「学業成績のこと」がともに5割弱、高校2年生世代は、「進路のこと」が5割半ばと最も高い。



(7) 困りごとや悩みを相談できる人（複数回答）

問 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人は誰ですか。

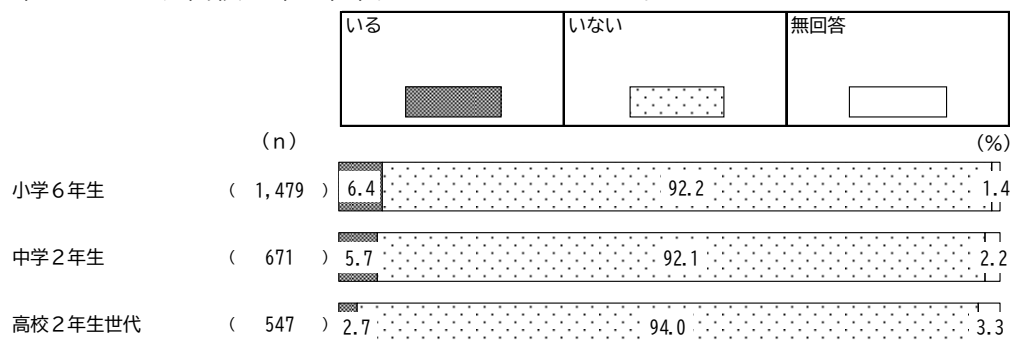
困りごとや悩みを相談できる人を見ると、小学6年生、高校2年生世代は、「親」が7割と最も高い。中学2年生は、「学校の友人」「親」がともに6割弱と最も高い。全ての調査種別において、「誰にも相談できない、相談したくない」は1割未満であるが一定数いる。



(8) 家族の中にあなたがお世話をしている人はいるか

問 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。

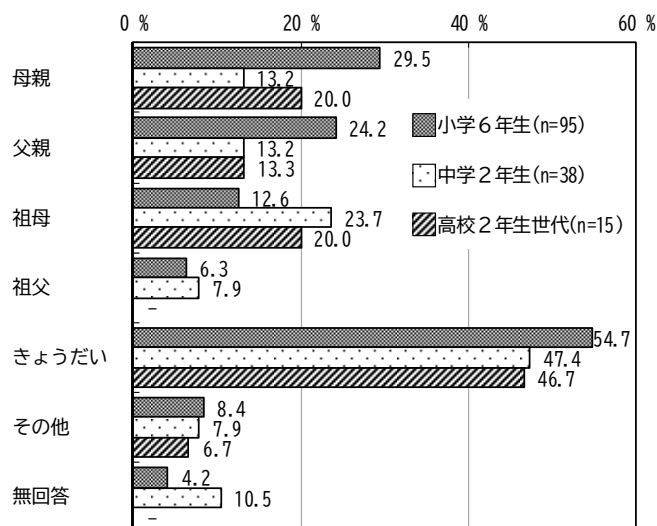
家族の中にあなたがお世話をしている人はいるかをみると、「いる」は小学6年生が6.4%、中学2年生が5.7%、高校2年生世代が2.7%となっている。



(9) お世話をしている人（複数回答）

問 あなたがお世話をしている人は誰ですか。

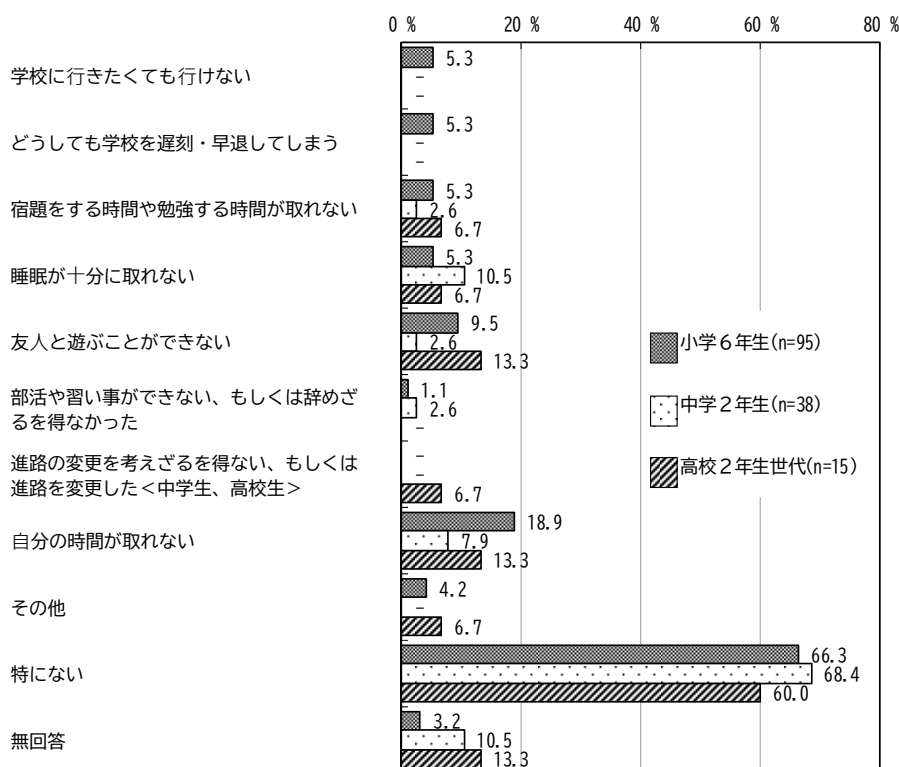
お世話をしている人を見ると、全ての調査種別において、「きょうだい」が最も高く、4割半ばから5割半ばとなっている。



(10) お世話をしていることで、やりたいけど、できていないこと（複数回答）

問 お世話をしていることで、やりたいけど、できていないことはありますか。

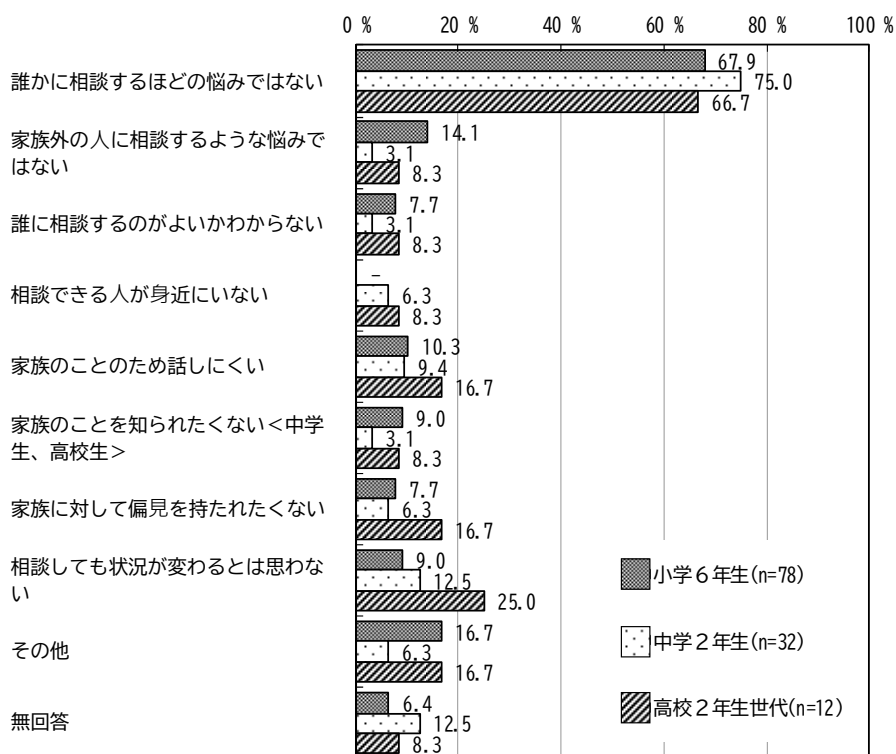
お世話をしていることで、やりたいけど、できていないことをみると、全ての調査種別で「特になし」が最も高く、6割台となっている。なお、小学6年生をみると「自分の時間が取れない」が2割弱となっている。



(11) お世話をしている家族のことや悩みを相談していない理由（複数回答）

問 相談していない理由を教えてください。

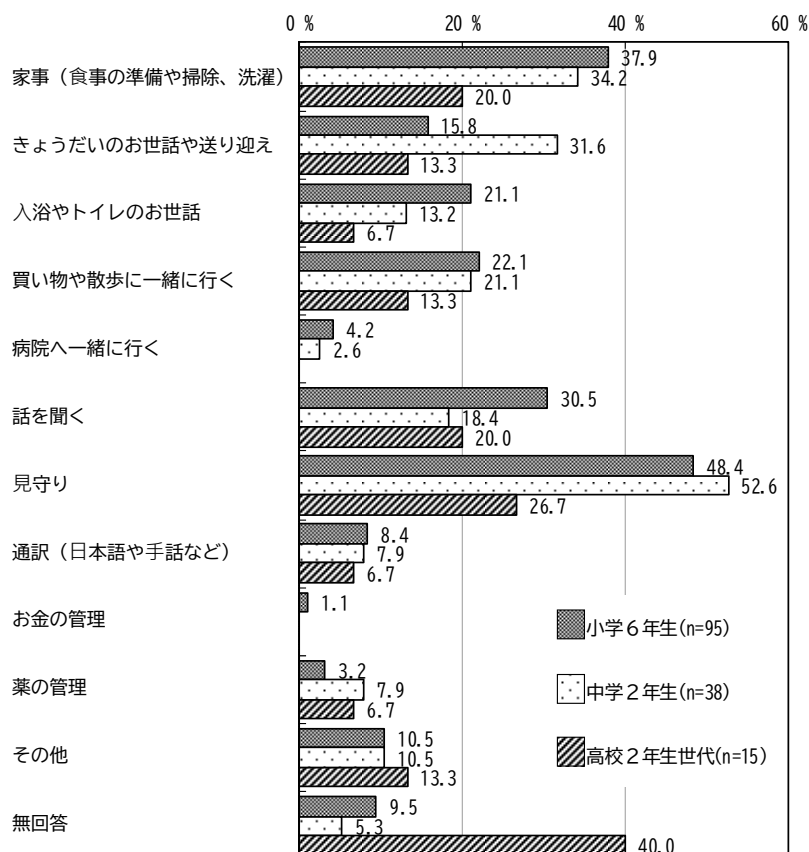
相談していない理由をみると、全ての調査種別で「誰かに相談するほどの悩みではない」が最も高く、6割半ばから7割半ばとなっている。



(12) お世話の内容（複数回答）

問 あなたはどのようなお世話をしていますか。お世話をしている人が何人かいる場合には、あてはまるものすべてに○をしてください。

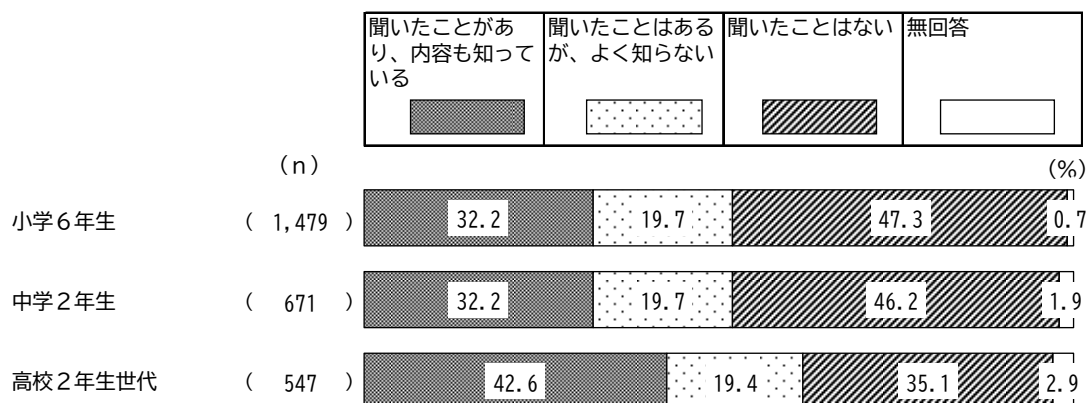
お世話の内容をみると、全ての調査種別において、「見守り」が最も高く、2割半ばから5割強となっている。



(13) 「ヤングケアラー」の認知度

問 「ヤングケアラー」という言葉をこれまで聞いたことがありましたか。

「ヤングケアラー」の認知度をみると、小学6年生、中学2年生は「聞いたことはない」がともに4割半ばと最も高い。高校2年生世代は、「聞いたことがあり、内容も知っている」が4割強と最も高い。



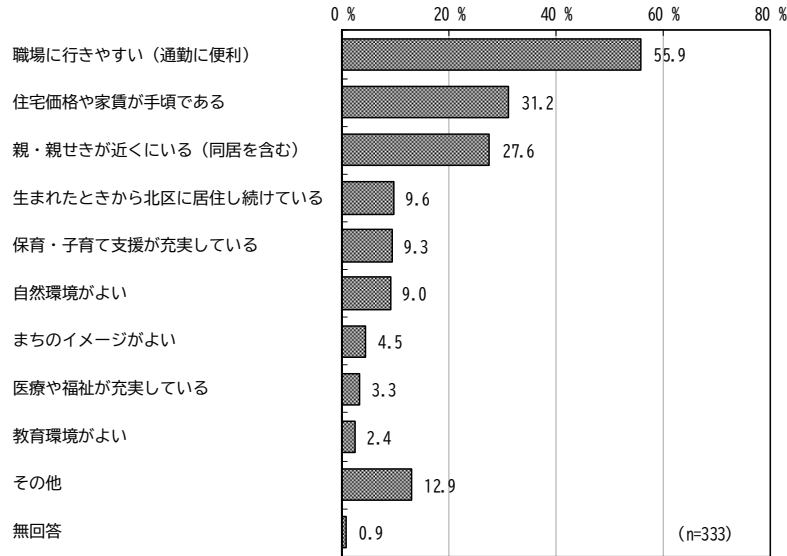
8

妊産婦

(1) 北区に住んでいる理由（複数回答）

問 北区にお住まいの理由をお答えください。

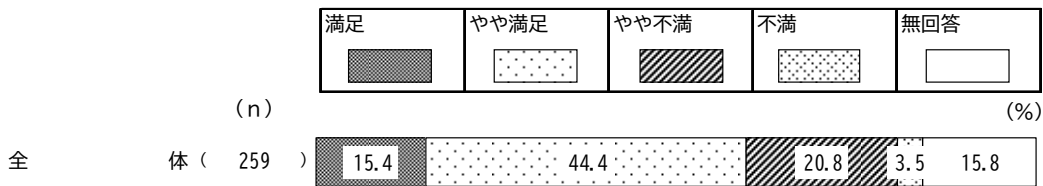
居住理由は、「職場に行きやすい（通勤に便利）」が5割半ばと最も高く、次いで「住宅価格や家賃が手頃である」が3割強、「親・親せきが近くにいる（同居を含む）」が3割弱と続いている。



(2) 仕事と家庭生活のバランスの満足度

問 あなたは、仕事と家庭生活のバランスに満足していますか。

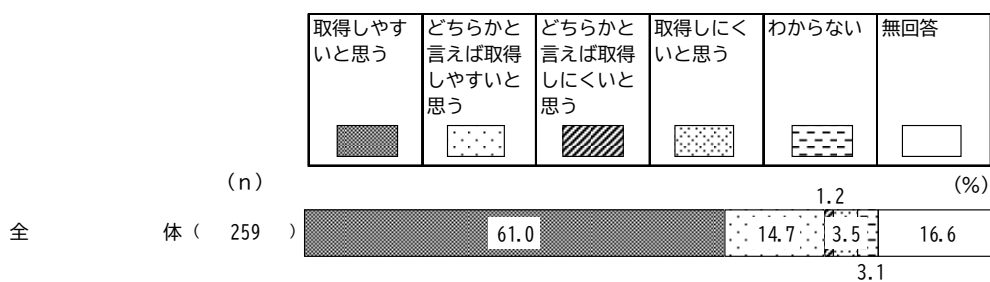
仕事と家庭生活のバランスの満足度は、「やや満足」が4割半ばと最も高く、次いで「やや不満」が2割、「満足」が1割半ばとなっている。



(3) 育児休業制度の取得しやすさ

問 あなたの職場は、育児休業制度が取得しやすい環境だと思いますか。

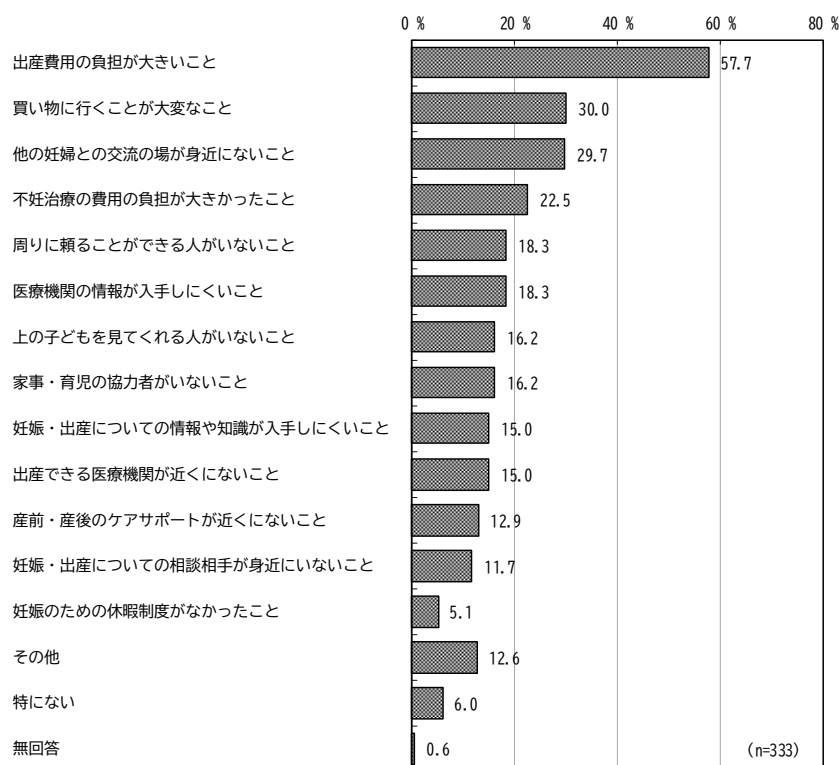
育児休業制度の取得しやすさは、「取得しやすいと思う」が6割強と最も高く、次いで「どちらかと言えば取得しやすいと思う」が1割半ばとなっている。



(4) 妊娠や出産の困りごと（複数回答）

問 妊娠や出産の困りごと、育児の不安感や負担感についてうかがいます。
 (1) あなたが妊娠や出産について困ったこと、もしくは困っていることはどのようなことですか。

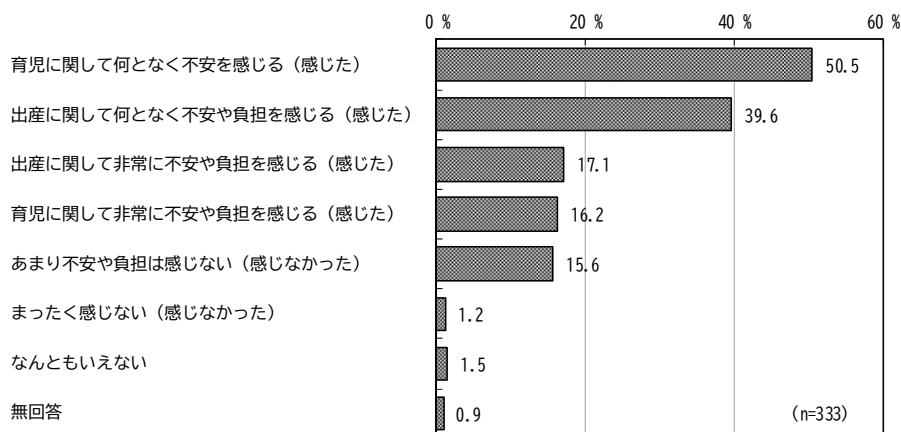
妊娠や出産の困りごとは、「出産費用の負担が大きいこと」が6割弱と最も高く、次いで「買い物に行くことが大変なこと」が3割、「他の妊婦との交流の場が身近にないこと」が3割弱と続いている。



(5) 出産や育児の不安感・負担感（複数回答）

問 妊娠や出産の困りごと、育児の不安感や負担感についてうかがいます。
 (2) 出産やその後の育児に関して不安感や負担感を感じることがありますか（ありましたか）。

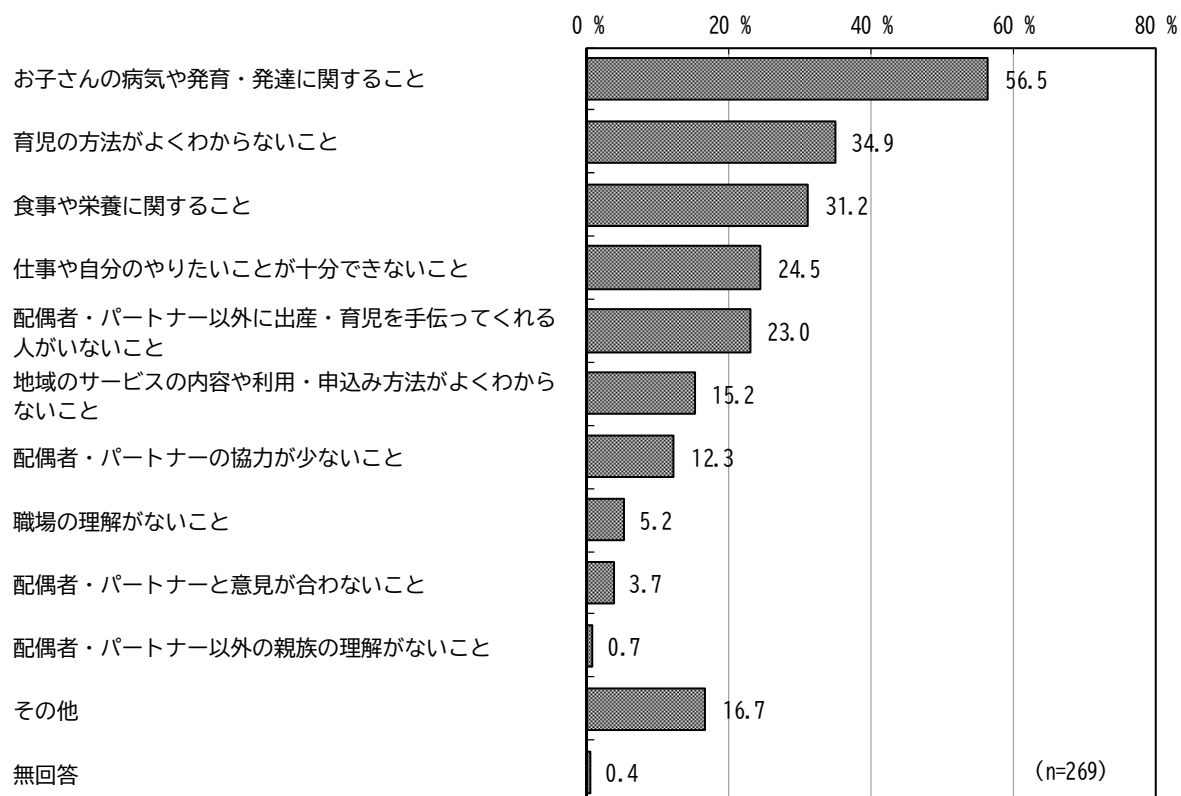
出産や育児の不安感・負担感は、「育児に関して何となく不安を感じる（感じた）」が5割と最も高く、次いで「出産に関して何となく不安や負担を感じる（感じた）」が4割、「出産に関して非常に不安や負担を感じる（感じた）」「育児に関して非常に不安や負担を感じる（感じた）」「あまり不安や負担は感じない（感じなかった）」がともに1割半ばと続いている。



(6) 出産・育児に関して不安に感じていること（複数回答）

問 出産・育児に関して、不安に感じている（感じていた）ことはどのようなことですか。

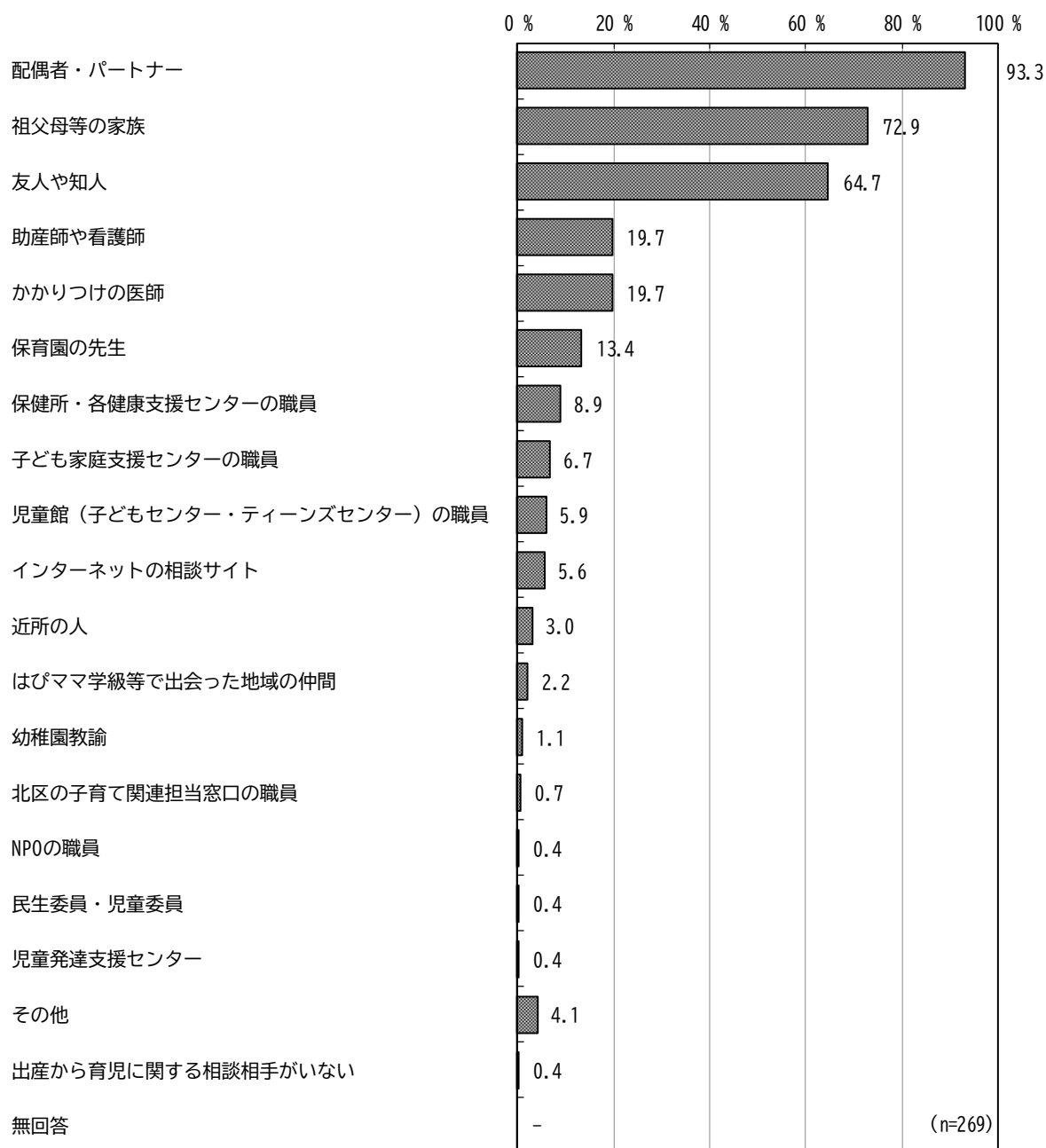
出産・育児に関して不安に感じていることは、「お子さんの病気や発育・発達に関すること」が5割半ばと最も高く、次いで「育児の方法がよくわからないこと」が3割半ば、「食事や栄養に関すること」が3割強と続いている。



(7) 出産・育児に関する不安や悩みの相談先（複数回答）

問 出産・育児に関する不安や悩みを誰に相談しますか（しましたか）。

出産・育児に関する不安や悩みの相談先は、「配偶者・パートナー」が9割強と最も高く、次いで「祖父母等の家族」が7割強、「友人や知人」が6割半ばと続いている。



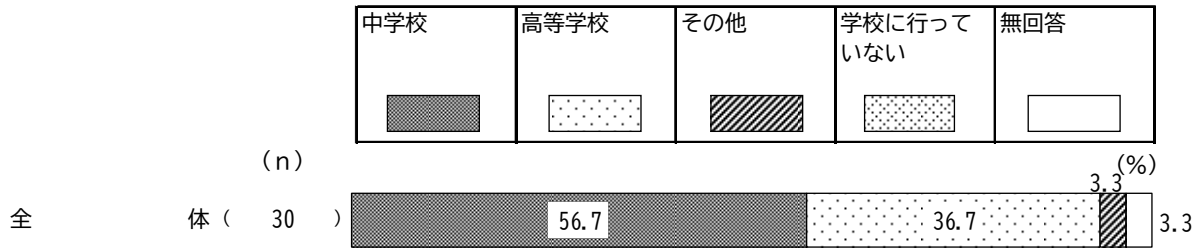
9

児童養護施設等利用者

(1) 通っている学校

問 あなたが現在通っている学校を教えてください。

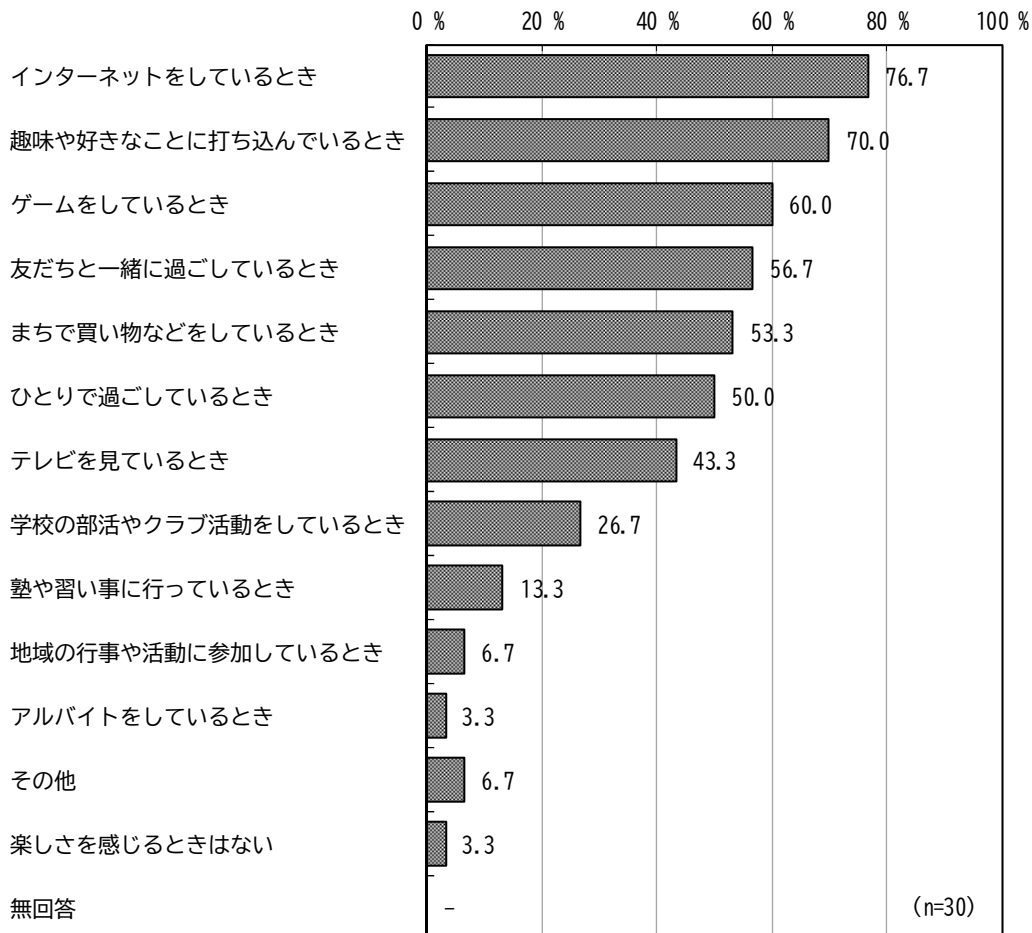
通っている学校は、「中学校」が5割半ば、「高等学校」が3割半ばとなっており、「学校に行っていない」はいなかった。



(2) 普段の生活で楽しさを感じる時（複数回答）

問 普段の生活で、どんなときに楽しさを感じますか。

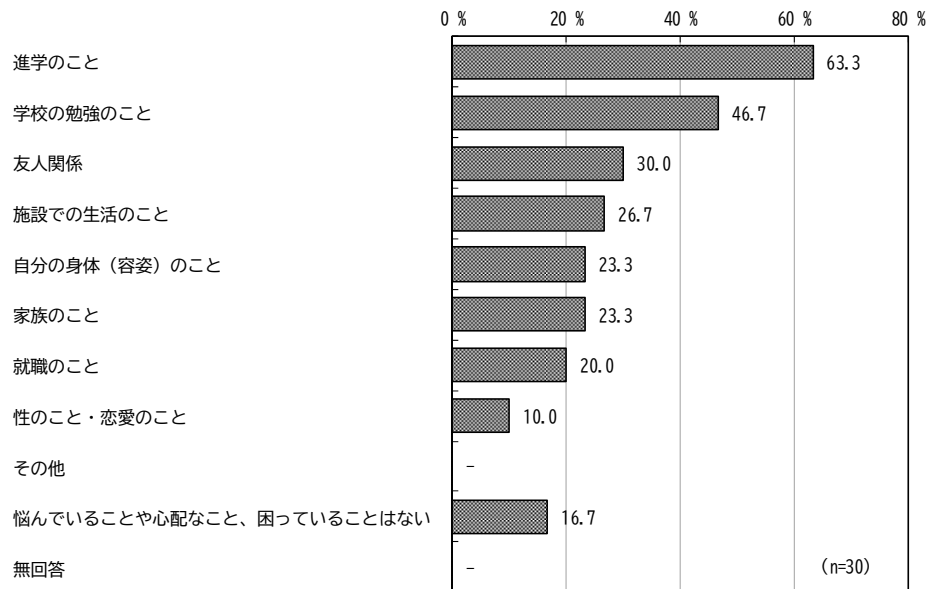
普段の生活で楽しさを感じる時は、「インターネットをしているとき」が7割半ばと最も高く、次いで「趣味や好きなことに打ち込んでいるとき」が7割、「ゲームをしているとき」が6割と続いている。



(3) 悩んでいることや心配なこと、困っていること（複数回答）

問 あなたが今悩んでいることや心配なこと、困っていることがあれば、教えてください。

悩んでいることや心配なこと、困っていることは、「進学のこと」が6割半ばと最も高く、次いで「学校の勉強のこと」が4割半ば、「友人関係」が3割と続いている。

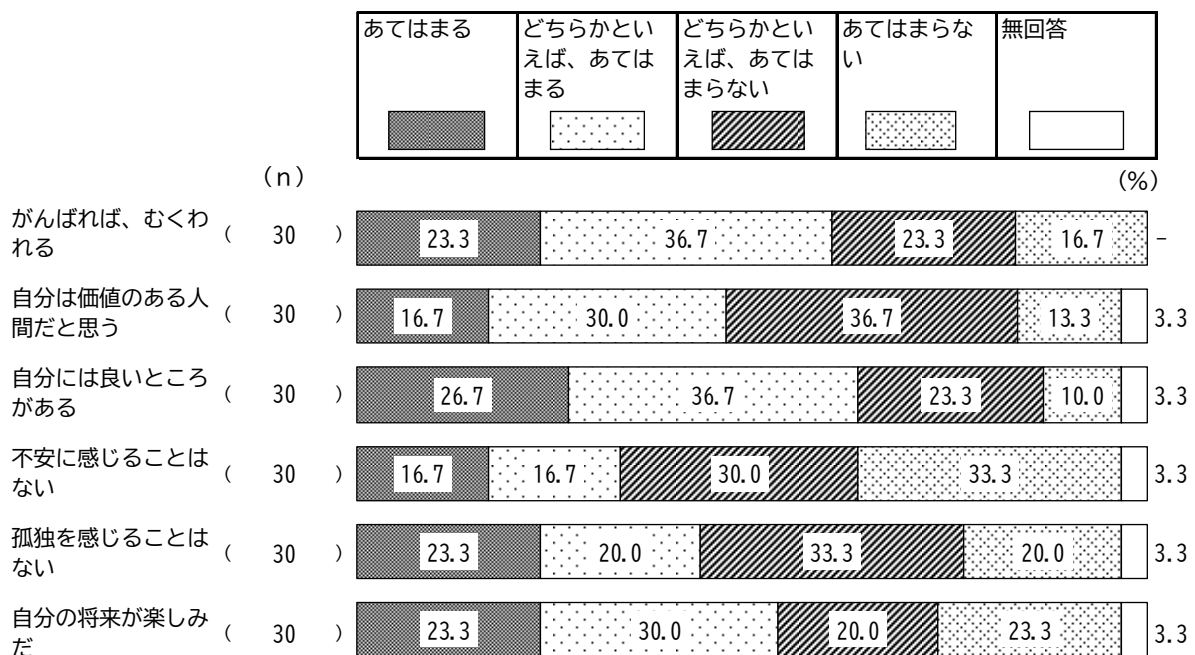


(4) 自身の考えについて

問 あなたは、次の①～⑥について、どのように思いますか。

- ①がんばれば、むくわれる ②自分は価値のある人間だと思う ③自分には良いところがある
④不安に感じることはない ⑤孤独を感じることはない ⑥自分の将来が楽しみだ

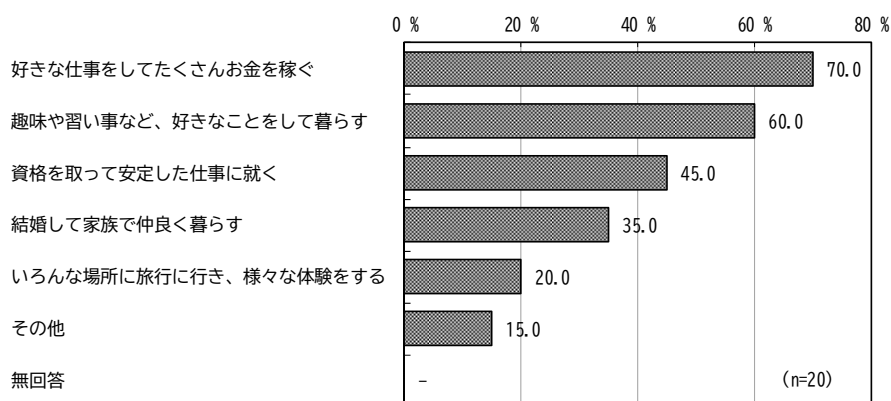
“あてはまる”（「あてはまる」+「どちらかといえばあてはまる」）は、『自分にはよいところがある』が6割半ばと最も高く、『不安に感じることはない』が3割半ばと最も低い。



(5) 将来の夢 (複数回答)

問 (将来の夢とは) どのような夢ですか。

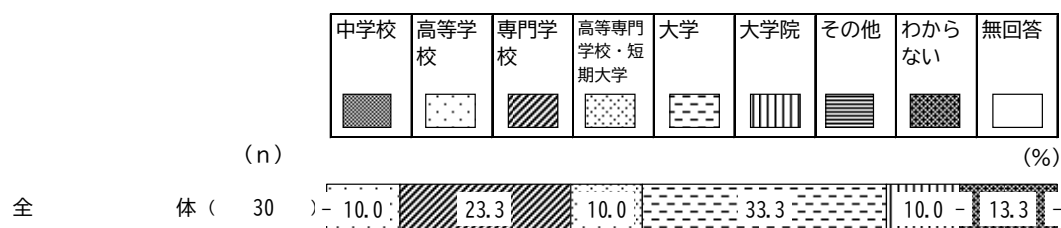
どのような夢かは、「好きな仕事をしてたくさんお金を稼ぐ」が7割と最も高く、次いで「趣味や習い事など、好きなことをして暮らす」が6割、「資格を取って安定した仕事に就く」が4割半ばと続いている。



(6) 進路希望

問 あなたは、希望として、将来どの学校まで行きたいと思いますか。

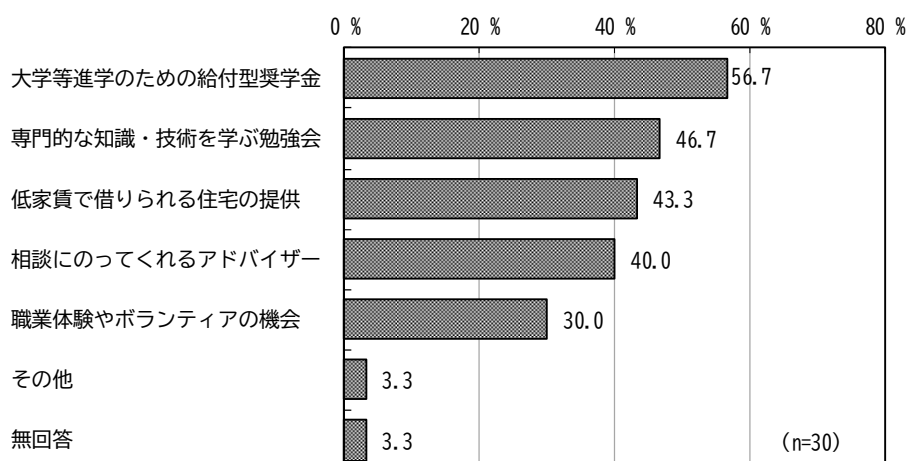
進路希望は、「大学」が3割強と最も高く、次いで「専門学校」が2割強となっている。



(7) 夢や希望をかなえるために必要な手助け・支援 (複数回答)

問 自分の夢や希望をかなえるためには、どんな手助け・支援が必要だと思いますか。

夢や希望をかなえるために必要な手助け・支援は、「大学等進学のための給付型奨学金」が5割半ばと最も高く、次いで「専門的な知識・技術を学ぶ勉強会」「低家賃で借りられる住宅の提供」が4割半ばと続いている。



(仮称)北区子ども・子育て支援総合計画策定のための区民意向調査報告書

【概要版】

令和5年(2023年)3月発行

発行:北区

編集:北区教育委員会事務局子ども未来部子ども未来課

〒114-8546 東京都北区滝野川2-52-10 北区役所滝野川分庁舎

☎03-3908-9097(直通)

刊行物登録番号

4-1-131
